

(参考資料 2)

「品質保持期限及び賞味期限の用語の統一について」に寄せられた意見

「品質保持期限及び賞味期限の用語の統一について」に寄せられた意見

番号	意見の提出者	意 見	分 類
1	男 全日本コー ヒー公正取引協 議会	この2つの用語は、制定経緯からも社会定着の状況からも別概念となつてい。今、安易に統一は避けるべきです。 ロングライフ牛乳に保持期限の設定したときから、期限切れのミルクを販売しないよう指導が徹底している。賞味期限について、まま混 同して、期限後の食品を廃棄するなど消費行動に間違った概念を与えたため、最近の消費混乱があったと考えます。	統一不要
2	岐阜県 男 食 品会社	もともと、JAS法と食品衛生法で表示が異なるのが、非常に迷惑である、家庭用は、JAS法それ以外全て食品衛生法がかかるが、あん まりわかっていない。本来目的も違うはず。 表示はシンプルがいいと思う。食品衛生法をもっと整備しそれだけでいいと思う。毎年変わってたまったもんじゃない。消費者がもっと賢 くなって欲しい。自由化、簡素化に逆行している。 賞味期限、品質保持期限についてもおかしい、意見として、今の期限は、賞味期限に統一する。(今まで一番慣れ浸しんでいるから)但 し、安全期限をつけることができることにする、これは自由、科学的に、人体に害にならない状態、微生物、過酸化物質、変敗など検査方 法を統一し、試験した結果に基づく期限(例、25 保管により、一般生菌数、10の7乗以下とか、過酸化物質30以下、などと)指標を決 めたものにする。あくまでも自由、JAS表示がなければ取り締まるところがなくともいいのだから、役所の合理化になる。また、賞味期限 が切れたからといって、すぐに捨てる主婦が多く、資源の無駄遣いを防止できる。税金を使わないようにもっと資源を大事に、最低限度 の表示を充実すれば言いと思います。安全は厚生労働省に任せる。農水省殿	賞味期限
3	雪印乳業KK 名古屋市 男 31 乳製品製造 業	「品質保持期限」に統一した方がよい。 (理由) ・どちらも科学的、合理的根拠で設定するものですが、品質保持期限の方が「品質の保持が十分可能であって、終期より余裕ある設定」 をしており、より安心を提供できると考える。 ・賞味期限は「消費期限」と間違いやすい。	品質保持期限
4	広島市	食の安全・安心が問題となっているが、特に、表示については、消費者にとっては唯一の情報入手手段である。 本来、安全とは如何なるものなのか、はっきりとした定義が必要であろう。 品質保持か賞味かといった場合、後者は味の点を保証している。従って、味は個人個人により異なり、その味を保証するというのもお かしな事である。物によっては、衛生的には問題があるかもしてないが、遅いほうが味が出ておいしいものもある。 一方、品質となると、新しいものの方が良いのは当然である。品質が悪くなる＝腐敗している＝食中毒を起こしやすい	品質保持期限
5	東京都中央区 男 塩水港精糖 株	私も現場でこの用語に付いては良く議論致しますが、日頃から統一した方が良いと感じています。 両方の用語は生活に定着していますので、どちらかが消えますと品質に関する期限設定が無くなったような印象を受けますので、統一し た用語が良いと思われます。 次ぎを提案致します。 「品質賞味期限」	その他(新語:品 質賞味期限)

6	マルサンアイ株式会社 愛知県岡崎市	<p>要望:「賞味期限」表示への統一を希望。</p> <p>理由:当社製品の一括表示は「賞味期限」として印刷している。「品質保持期限」と統一すると改版が必要となり、改版に伴う作業及び費用が新たに生じるため。</p>	賞味期限
7	杉本屋製菓株式会社 愛知県豊橋市	<p>1、用語統一の可否; 統一すべきだと思います</p> <p>2、統一後の用語 ; 賞味期限</p> <p>3、その理由;</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字数が少ない。略々同義語なら短い方が良い ・賞味期限の用語は、次ぎの点からも優れていると思う ・CODEXの規格最後段「However,beyond the date the food may still be perfectly satisfactory.」の文意により沿っている ・日本文化の伝統が「省略の美」である事を勘案すれば、賞味期限の方が含みがある。 ・菓子産業の大勢が賞味期限である事 	賞味期限
8	株式会社ハウス	<p>平成14年9月4日付け「品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見の募集について」下記意見具申申し上げます。</p> <p>1.用語統一について 統一すべきだと思います。</p> <p>理由)</p> <p>現在同じような趣旨の用語が「品質保持期限」「賞味期限」の2通りあることは、表示義務者に対してどの用語を用いるべきなのか又併記すべきなのか困惑を与えるものであり、また消費者に対しても同じ意味が異なるものかの戸惑いを与えるものであり、用語を統一すべきだと思います。</p> <p>2.いずれの用語を用いるべきか?</p> <p>JAS法に定められている賞味期限に用語を統一すべきと思料します。</p> <p>理由)</p> <p>1)品質保持期限より賞味期限の方が一般的に用いられており消費者に馴染みがある。</p> <p>2)賞味期限の規定にその対象が「容器包装の開かれていない製品」とあり、品質保持期限の規定より具体的である。</p> <p>3.その他の意見</p> <p>実際の商品販売の場面では賞味期限・品質保持期限とは別の期限が使用されており、このことも消費者に混乱を与えている。用語統一と同時にこのような用語の使用法のガイドラインを決めてもらいたい。賞味期限の他に気付いた期限は次のとおり。なお、用法は推測である。</p> <p>消費期限</p> <p>賞味期限内(商品としての品質特性は保たれている)ではあるものの販売者が提案・訴求したい商品本来の風味が明らかに損なわれるまでの期限。</p> <p>なお、本書は社団法人大日本水産会からの案内に基づき作成しました。</p>	賞味期限

9	港区新橋 男 全日本菓子協会	賞味期限に統一していただきたく、お願いします。 【理由】 1. 菓子類については、既に賞味期限が消費者に浸透・定着しており、これ以外の表示に変更されると、消費者に混乱をもたらすことになる。 2. 表示すべき事項が複雑多岐になってきているため、表示スペースや見やすさ等を勘案し、字数の少ない賞味期限表示が望ましい。 3. 品質保持期限が食品以外にも使用される一般的な表現であるのに対し、賞味期限は食品のイメージにフィットした表現であり、品質特性を十分に保持しようという意味合いを包含した表現である。 4. ほとんどの菓子類は、現在賞味期限表示となっており、これ以外の表示に変更されると、菓子メーカーに新たな負担を強いることになる。 また、消費者のなかに賞味期限と消費期限の混同がみられることから、消費期限の用語の明確化と消費者への周知徹底を図っていただきたく、併せてお願いします。	賞味期限
10	埼玉県所沢市 男 36 食品流通	「賞味期限」がよいと思います。なじみがあり、文字も少なく見やすいです。「品質保持期限」ですとなにか1日でも過ぎると体に重大な外があるかのような気がします。	賞味期限
11	宝酒造株式会社 京都市	< 意見 > 「賞味期限」に統一するよう要望します。 < 理由 > 1. 「賞味期限」という用語は、消費者の認知度が高い。 「品質保持期限」に比べ、「賞味期限」と表示している商品の方が市場に多く流通している。 2. 「賞味期限」の方が、容器・包装資材の廃棄ロスを少なく出来る。 第1項の理由により、統一後の表示切替え時に発生する資材ロスを少なく出来る。 3. 「賞味期限」の方が、狭いスペースで表示できる。 商品には、他にも多種多様の表示を求められるが、表示可能なスペースは限られている。	賞味期限
12	岩手県二戸市 株式会社十文字 チキンカンパ ニー	色で表示をしたらよいと思う。 どうせ大まかな目安でしかないわけですので、信号の色で分けることとする。 青 = ここまでなら絶対大丈夫で味も問題ない、黄 = 安全性や味についてどちらかが問題が出てくる、赤 = これを超えたらかなり危険な時期。白黒印刷の時は、白、グレー、黒でしょうか。色盲の方に不便というのであれば、あるいはニコちゃんマークとか困ったちゃんマークを使うとか。 食品に絶対の安全は無いということを消費者に浸透させることが課題になっているとの認識が広まりつつありますが、そのことを更に浸透することと、保存状態で左右されることが消費者には強力に認識してもらう必要があります。 日本は残飯王国なんだそうですが、そういった道徳的批判を解消するためにも、製造年月日を復活するなど馬鹿な真似はやらないで頂きたいと切に願います。何が「わがまま」の範疇にはいるのかをしっかりと消費者には認識して貰うことを柔らかく行うことも行政に切に望みます。	その他(色分けしてはどうか)
13	兵庫県姫路市 男 42 製造業	このたびの件に関しては、品質保持期限に統一するのが望ましいと考える。なぜなら賞味期限という言葉から感じるのは「おいしく食べられる期限」であり、安全に食べられる期限ではない。消費者が求めるのは主には後者であると思われる。また、添加物のように「賞味」することが前提でないものに「賞味期限」と表示するのはどう考えても不自然、不合理であると言わざるを得ない。 上記のような理由からその食品(添加物)に求められる品質を保持できる期限という意味で、「品質保持期限」に統一して表示するのが合理的であるとする。	品質保持期限

14	町の豆腐店主	私共豆腐組合では、日持ちのしない豆腐製品は期限表示で今日まで来ております、私共の立場で考えてみても、品質保持期限と消費期限はやや一致するかな、とも思いますが、賞味期限は読んで字のごとく、おいしく食べられる期限をさすものと思います。従って、日持ちの市内、町の手造り豆腐は、消費期限で良いと思いますが、大手豆腐工場で造る充填豆腐等は品質保持期限で良いのではないかと思います。私たちの組合では、消費者の方々との懇談会を時々行っております。今、消費者の方々が一番知りたいことは、その商品がいつ造られたかであって、いつまでおいしく食べられるかではないことが良く分かりました、幸い当組合では15年位前に認証制度を取り入れて来ましたので、その時から製造年月日と消費期限を併記して現在まできております。特に最近は食品の表示違反が横行している時だけに消費者の方々のため安全で安心な食品を提供するのは我々町の豆腐製造業者としての義務と責任であると考えております。ただ、品質保持期限の製品の中には1日でも長く品質を保持するため表示義務のいらない品質保持剤を使用している豆腐が一部に出回っていることが一番心配です、このことも一緒に御検討いただければと、我々同業として、お願い申し上げます。	品質保持期限
15	名古屋市 愛知県豆腐商工業協同組合	別紙1	賞味期限
16	全国菓子工業組合連合会 東京都港区	品質保持期限および賞味期限の用語は統一すべきであり、その際には賞味期限がより適切であると考えます。 理由 1. 品質に関する意味内容が、食品衛生法での「すべての品質」よりも、「JAS法の「製品として期待されるすべての品質特性」の方が安全ということばかりでなく味という意味内容も含まれ、消費者にとって分かりやすいと考えます。 2. 上記観点もあって、菓子類については、賞味期限表示が、製造者並びに消費者に浸透・定着しているところです。	賞味期限
17	東京都港区 女社)全国消費生活相談員協会食の研究会	用語は、「賞味期限」に統一するべきと考えます。 理由:賞味できる期限という言葉どおりで、消費者に分かりやすく、馴染みやすい。 文字数が少ない方が良い。 品質保持期限は字数が多いうえ、消費期限と紛らわしく勘違いする可能性があります。	賞味期限
18	カネカ食品株式会社 岐阜県羽島郡 男 42 会社員(食品製造)	弊社の場合は賞味期限に統一して表示しています。 賞味期限は品質確保はもちろん、美味しく食べられる期間を指すものとしての印象があると思います。一方、品質保持期限は美味しく食べられる期間が過ぎて、菌数が多くなる・変色する等の品質劣化が生じるまでの期間のように感じられます。 この点も消費者が誤解しやすい内容ではないでしょうか。 その用語が持つ意味が具体的に消費者に示されていないと、混乱が生じる可能性があると思います。省庁の見解によって用語の食い違いが生じるのは、反って混乱します。 統一するのであれば賞味期限の方が良いと思います。	賞味期限
19	東京都渋谷区 男 全国和菓子協会	食品類(菓子類を含む)については、既に賞味期限が消費者に浸透、定着しており、これ以外の表示に変更されることにより、消費者に混乱をもたらす可能性が大きい。 品質保持期限が食品以外にも使用される一般的な表現であるのに対し、賞味期限は食品に限られた表現であり、わかり易い。 ほとんどの和菓子類は、現在賞味期限表示及び消費期限表示となっており、これ以外の表示に変更されると、包材及び表示方法変更など、製造事業者に新たな負担を強いることになる	賞味期限

20	日本蜜柑缶詰工業組合	<p>意見： 用語を統一する必要はない</p> <p>理由： 食品の製造年月日よりもシェルフライフに関する情報提供いわゆる期限表示について、消費者からの要請の高まりを受けて、平成7年4月1日より品質保持期限または賞味期限の表示が制度化され、すでに5年が経過した。この間消費者にとって定着した用語としてとくに混乱が見られていない。また諸外国でも期限表示はSell-by-date, Expiry date, Use-by-date, Best・・・、The date of minimum durabilityなどいろいろ表記がなされている。</p> <p>つまり消費者に、食品メーカーまたは販売者のシェルフライフに関する意志表示をすることによって、消費者の理解を支援する情報提供に最大の意義があり、用語の統一は不必要という底流にあるためである。</p>	統一不要
21	横浜市 男 58 団体役員	<p>意見： 用語を統一する必要はない</p> <p>理由： 食品の製造年月日よりもシェルフライフに関する情報提供いわゆる期限表示について、消費者からの要請の高まりを受けて、平成7年4月1日より品質保持期限または賞味期限の表示が制度化され、すでに5年が経過した。この間消費者にとって定着した用語としてとくに混乱が見られていない。また諸外国でも期限表示はSell-by-date, Expiry date, Use-by-date, Best・・・、The date of minimum durabilityなどいろいろ表記がなされている。</p> <p>つまり消費者に、食品メーカーまたは販売者のシェルフライフに関する意志表示をすることによって、消費者の理解を支援する情報提供に最大の意義があり、用語の統一は不必要という底流にあるためである。</p>	統一不要
22	東京都府中市 男 54 団体役員	<p>意見： 用語を統一する必要はない</p> <p>理由： 食品の製造年月日よりもシェルフライフに関する情報提供いわゆる期限表示について、消費者からの要請の高まりを受けて、平成7年4月1日より品質保持期限または賞味期限の表示が制度化され、すでに5年が経過した。この間消費者にとって定着した用語としてとくに混乱が見られていない。また諸外国でも期限表示はSell-by-date, Expiry date, Use-by-date, Best・・・、The date of minimum durabilityなどいろいろ表記がなされている。</p> <p>つまり消費者に、食品メーカーまたは販売者のシェルフライフに関する意志表示をすることによって、消費者の理解を支援する情報提供に最大の意義があり、用語の統一は不必要という底流にあるためである。</p>	統一不要

23	日本消費者連盟 東京都目黒区	添付された参考資料によれば、現在の「品質保持期限」及び「賞味期限」の用語は、「包装食品の表示に関するコーデックス一般規格」の用語の定義〔date of minimum durability (best before)〕を、農林水産省、厚生労働省それぞれにおいて異なった表現を用いられたものであり、消費者は二つの用語の差異の見極めに混乱と余計な負担を受けていたことがわかります。 「当該製品に責任を負う製造業者等が、科学的、合理的根拠をもって適正に設定すべきものである」(飲食物品及び油脂の日本農林規格及び品質表示基準の日付に係る事項の改正について)とすれば、製造業者等が責任を負うことを明確にする「品質保持期限」の用語に統一すべきと考えます。 尚、以下は表示制度についての意見で述べるべきことですが、ここに申し添えます。 「その日付を過ぎても、その食品は依然として完全に満足し得る」とか、「...期間の終期より十分に余裕をもって行うもの...」「...期待される品質を有すると認められる期限の場合より短いものとなる」などの期限表示の説明は、期限終期における消費者の選択の幅を示していることとなります。ここに、製造年月日の表示があることによって消費者は、個々の製品の特性を自ら考慮して期限終期の製品を選択することができるようになるのではないのでしょうか。 用語の統一後は、店頭における消費者サービスと一体化した運用が、消費者の表示への関心と活用を増し、悪質な改ざん防止につながると考えます。	品質保持期限
24	東京都葛飾区 女 主婦	食品表示で、わかりやすい表現がよいと思います。 また、統一したものがよいと思いますので、「消費期限」というふうに、これまでに使ってしまうのがよいことがわかる表現とします。また、製造年月日も併記してその間隔でどのくらいで消費するべきがわかります。消費期限は目安であり、保存方法などでも、期限が変わることも注意表示するとよいと考えます。	その他(消費期限に統一)
25	東京都中央区 社団法人日本パン工業会	「賞味期限」と「品質保持期限」の用語の統一について 「賞味期限」と「品質保持期限」の用語の統一に当たっては、食品のおいしく食べられる期間を示す用語であるので、従来から消費者にもなじみの多い「賞味期限」に統一すべきである。 品質保持期限という言葉は、味覚よりも機能性を重視した表現のように感じられ、一般の食品に使用する用語としてはなじみにくい。	賞味期限
26	全日本カレー工業協同組合 東京都台東区	賞味期限に統一するようにお願いします。 (理由) 1. 「品質保持期限」が食品以外にも使用される一般的な表現であるのに対し、「賞味期限」は、食品の品質特性を十分に保持しようという意味合いを包含しており、食品に最もふさわしい優れた表現である。 2. 表示は、できる限り簡潔にするべきであり、字数の少ない「賞味期限」の方が良い。 3. 現在、ほとんどのカレー製品は、賞味期限となっており、すでに消費者にも理解され定着している。また、これ以外の表示に変更されると改版が必要となり、メーカーに新たな負担を強いることになる。	賞味期限
27	全国味噌工業協同組合連合会 東京都中央区	賞味期限に統一して欲しい。その理由は 1. みそ製造業者の大部分は、「賞味期限」の表示を実施していること、及び 2. 消費者にとっても「賞味期限」の方が理解しやすいと思われること。 以上より賞味期限にて統一することを強く希望。	賞味期限

28	流山市 男 55 会社員	意見; 用語を統一する必要はない 理由; 食品の製造年月日よりもシェルフライフに関する情報提供いわゆる期限表示について、消費者からの要請の高まりを受けて、平成7年4月1日より品質保持期限または賞味期限の表示が制度化され、すでに5年が経過した。この間消費者にとって定着した用語としてとくに混乱が見られていない。 また諸外国でも期限表示はいろいろな表記がなされている。 消費者に、食品メーカーまたは販売者のシェルフライフに関する意思表示をすることによって、消費者の理解を支援する情報提供に最大の意義があるのであり、用語統一に意味を求めることは不必要。	統一不要
29	日清製油株式会社 東京都中央区	今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については異議あるものではありません。しかし、具体的課題として「賞味期限」と「品質保持期限」の統一について以下の様にコメントいたします。 「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり、「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)では化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を継続して表示をしていきたい強く望むところであります。また、消費者サイドにおいても「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。	賞味期限
30	東京都港区 ニッカウヰス キー株式会社	1. 賞味期限を統一用語にすることを望みます。 2. 理由: 一般消費者の方に馴染んでおり、わかり易い用語であること。 表示スペースに限りがある商品には、文字数の少ない用語が望まれること。	賞味期限
31	横浜市旭区 男 30 団体職員	意見; 用語を統一する必要はない 理由; 食品の製造年月日よりもシェルフライフに関する情報提供いわゆる期限表示について、消費者からの要請の高まりを受けて、平成7年4月1日より品質保持期限または賞味期限の表示が制度化され、すでに5年が経過した。この間消費者にとって定着した用語として特に混乱が見られていない。また諸外国でも期限表示はSell-by-date、Expiry date、Use-by-date、Bestbefore・・・、The date of minimum durabilityなどいろいろな表記がなされている。つまり消費者に、食品メーカーまたは販売者のシェルフライフに関する意思表示をすることによって、消費者の理解を支援する情報提供に最大の意義があり、用語の統一は不必要という考えが底流にあるためである。	統一不要
32	名古屋市名東区 生活協同組合連 合会東海コープ 事業連合	「賞味期限への統一を推奨」。理由...品質保持期限から受ける語感、可食期限と紛らわしいものがあります。あくまで「おいしく食べられる」期限ということで賞味期限がのぞましいと考えます。なお欲を言えば、「賞味推奨期限」という言い方がより分かりやすいような気がします。現行の賞味期限表示のものでさえ、消費者からは「期限を過ぎたら食べられないのか」という質問をよく受けるからです。	賞味期限
33	横浜市神奈川区 男 36 会社員	品質保持期限は「品質」という語句からしても成分が変化しやすい製品に対して用いるものであり、賞味期限が比較的長く栄養成分等がほとんど変化しない一般加工食品類については「賞味期限」がより適切な表現であると考えます。何より、一般消費者に対して食品としての適性を示す表現としては、「賞味期限」という言葉の方が適切であると思います。	賞味期限

34	日清製油株式会社 堺市 男	<p>「品質保持期限」と「賞味期限」の用語統一について下記のとおりコメント致します。</p> <p>「品質保持期限」は品質がいつまでもつか、「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、であり、消費者の受ける印象が異なります。当社商品(食用油)(未開封)のように1年から2年では化学的特性でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を継続して表示していくことを強く希望致します。</p> <p>また、消費者サイドにおいても、「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限
35	大阪府堺市 男 37 会社員(食品メーカー)	<p>品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見</p> <p>消費者の立場で考えると、食品に関しては賞味期限というのが適切かと考えます。</p> <p>その表現の通り、「賞味できる」すなわち「味わいながら食べることができる」期限という方が食品としてふさわしいように思うからです。</p> <p>品質保持期限という表現は、単に食べるのが可能な品質を保証する期限というような印象で、食べ物に必要なおいしさという観点が抜けているように思えます。</p>	賞味期限
36	山脇製菓株式会社 東京都豊島区	<p>現在、当社は賞味期限で表示しています。その用語を変更されれば、資材(袋)に印刷しているのを変更する為に版を作り変える費用が非常にがかかります。現在の景気の中でこの費用を出費するには、非常にキビシク思います。当社としては、今後、統一されるならば、賞味期限でお願いしたいと思います。又、この用語の方が文字数も少なく良いと思います。</p>	賞味期限
37	全国銘産菓子工業協同組合 東京都港区	<p>以下の理由により賞味期限に統一して頂きたいをお願いします。</p> <p>1. 食品類(菓子類を含む)については、既に賞味期限が消費者に浸透、定着しており、これ以外の表示に変更することにより、消費者に混乱をもたらすと思う。</p> <p>2. 賞味期限は食品に限られた表現であり、わかり易い。</p> <p>3. ほとんどの和菓子類は、現在賞味期限表示及び消費期限表示となっており、これ以外の表示に変更されると、包装及び表示方法変更など、製造事業者に新たな負担を強いることになる。</p>	賞味期限
38	協同組合日本洋菓子工業会 東京都港区	<p>賞味期限に統一していただきたい。</p> <p>理由</p> <p>1. 菓子類は、現在ほとんど「賞味期限」表示となっており、「賞味期限」が消費者に浸透している。これ以外の表示に変更されると、消費者に混乱をもたらすとともに、菓子メーカーに新たな負担を強いることになる。</p> <p>2. 表示項目が増加しており、表示スペースなどを考慮し、簡潔な表現である「賞味期限」が望ましく、また、食品表示にふさわしい表現である。</p>	賞味期限
39	(個人)	<p>字面の印象だけだと、「賞味期限」は開封後であっても、「飲食可能」な期間を示しているように感じる。</p> <p>逆に、未開封であってもこの期限を過ぎると「食べてはいけない」と判断しかねない。</p> <p>よって、品質保持期限のほうが適切と考える。</p> <p>それはそうと、「品質保持期限」ないし「賞味期限」が意味するところをしっかりと知らしめるよう、勤めるべきである。</p> <p>食品に記載された「期限表示」を冷蔵庫にメモして、開封・未開封にかかわらず「消費」の目安としている主婦が たくさんいることを知っていますか？</p> <p>冷蔵庫に入れていれさえすれば、「賞味期限」ないし「品質保持期限」内なら食べても大丈夫と思っている人が ほとんどなのですよ。</p> <p>どちらの表示がいいですか？なんてつまらない調査に何人もの担当がついていたり、集計するのに何日もかかるような税金の無駄遣いは金輪際やめてもらいたい。</p>	品質保持期限

40	全国飴菓子工業協同組合 東京都府中市	賞味期限に統一を御願い致します。 理由 菓子類については、既に賞味期限が消費者に浸透定着しています。 これ以外の表示に変更されると、消費者に混乱をもたらします。 表示すべき項目が多岐複雑になっているため、表示スペースや見易さなどを考慮して字数の少ない賞味期限の方が良いと思います。 品質保持期限が食品以外にも使用されて居る一般的な表現であるに対して賞味期限は食品のイメージに適切な表現であり、品質保持の意味合いも含んだ表現です。 殆どの菓子類は、賞味期限表示となっており、これ以外の表示に変更される	賞味期限
41	製粉協会 東京都中央区	「意見」 製粉協会では、会員会社と平成8年11月26日付けで家庭用小袋(小麦粉)の表示に関して、「基本的に賞味期限と表示する」ことで合意が出来ており、既に実施しているので、品質保持期限でなく「賞味期限で統一する」ことを希望する。 「背景」 小麦粉は、長期間の保存に耐え得る商品であるが、国際的な動き及び品質に関し消費者の選択に資することを目的に、小麦粉の二次加工適性上、変化を及ぼす時点を「賞味期限」として捉え、標準とする賞味期限を、強力粉で製造後6ヶ月、中力粉、薄力粉で1ヵ年として設定した経緯がある。	賞味期限
42	全日本コーヒー公正取引協議会 中央区	1, 2つの用語の社会的にはほぼ4半世紀に、それぞれの概念が定着しており、これを変更することは、時期尚早である。 2. 保持期限が過ぎたものは販売はもちろんのこと、家庭では捨てられている。賞味期限の場合は、特売なり、早期消費あるいは再加熱などして捨てられることは少ない、現実がある。 3、CODEKなど国際的にも日付け表示の用語は5つ位あり、わが国の現状からして、啓発なしに改廃することには賛成出来ない。マスコミでの2つの用語の出現率を参考にご検討もお願いしたい。 4、統一するとすれば、賞味期限にされたい。 5. ロングライフミルクで設定した保持期限は、明らかに販売停止日と指導されてきた、その後、今の定義に変えたが、設定20年余の歴史が家庭に定着している。	統一不要
43	(個人)	品質保持期限の意味が、その食品が食べることができる期間という意味であれば、品質表示にすべき。 期限を表示することで、消費者が迷っているのではないだろうか。 期限が切れたもの、期限切れが近いものは店頭あるいは家庭で廃棄され、ゴミとなってしまいます。 食糧の6割を輸入しているながら6%の食べ物がロスとなっている状況を増やさないようにしていただきたい。 どちらの表示にしても、なにを表示しているのかが消費者に伝わっていなければ、このロスは防がないでしょう。食品メーカーは表示期限を短めに設定していると思います。 味が落ちない期限なのか、保存ができる期限なのか明確にしてください。 それよりも、例えば「おはぎ」に砂糖・小豆・もちこめ・塩 以外の材料が使われていることがおかしくないでしょうか。	品質保持期限
44	神戸市東灘区 男 38 製造業	「賞味期限」と「品質保持期限」の統一について以下の様にコメントいたします。 「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり、「賞味期限」はいつまでもおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違ひがあります。食用油のように、未開封の状態で1年から2年の間、化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を継続して表示をしていきたい強く望むところであります。また、消費者サイドにおいても「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。	賞味期限

45	攝津製油(株) 堺市 男	「賞味期限」と「品質保持期限」の統一について、以下のとおり意見を申し述べたく思います。 「賞味期限」と「品質保持期限」では、消費者サイドで受け取る印象が異なるものと考えます。当社商品であります食用油については、その特性上(未開封で1～2年は化学的特性値でもほとんど変化がない)、および従来からその表現を用いてきたこともあり、「賞味期限」が広く消費者に受け入れられ、なじみの深いものであると考えます。 従って、今後とも継続して「賞味期限」での表示を強く望むところであります。	賞味期限
46	カバヤ食品株式会社 岡山県岡山市	菓子メーカーで賞味期限表示に馴染んでいるせいかもしれませんが、品質保持期限の方が、それを過ぎたら品質劣化して食べられない感じが強いように思われます。美味しく食べていただける期間を表すのであれば、賞味期限の方がよりふさわしい様に思われます。同業他社及び当社においては、菓子類について永年(約20年)賞味期限表示を行っております。賞味期限表示が消費者に浸透、定着しておりますので、これ以外の表示に変更されると、消費者に混乱をもたらすことになります。又、表示変更になりますと、対象商品のすべてを改版しなければなりませんので、余分な費用と時間の無駄になります。以上の理由から、当社といたしましては賞味期限表示を続けるほうが良いと判断致します。	賞味期限
47	株式会社 山食 奈良県吉野郡	「賞味期限」表示に統一するのが望ましい 理由 当社は奈良県で豆腐業をしております。表題の表示に関し、関西地区での表示実体を調査しどちらが良いか検討いたしましたが、豆腐業界の約8割以上の企業が、期限が5日以上の場合「賞味期限」表示を採用しております。このことから「品質保持期限」よりも「賞味期限」表示の方がより多くの消費者の認知度も高く、表示統一にあたり混乱なく受け入れてくれるものと考えられます。 また豆腐業界では、期限の最終日が5日間までの商品については「消費期限」を採用しておりますが、「賞味期限」と「消費期限」の違いを理解している消費者は少ないように思いますので「賞味期限」一本に統一することがより消費者に理解してもらえるものと考えます。	賞味期限
48	株式会社 九九プラス	弊社では、商品本部にて検討の結果、品質保持期限を支持致します。 理由につきましては、品質という意味に賞味という言葉が包括され、食品以外にも適用できるとの意見が多く集約した結果、上記のように決定させていただいた次第です。 よろしくご検討お願い致します。	品質保持期限
49	株式会社小山製麺 岩手県胆沢郡	希望： 賞味期限 理由： 現在、賞味期限で取り組んでいる。変更になると数100種の印刷を変えることになる。費用的に無理が生じるので、希望の通りをお願いします。	賞味期限
50	日本チョコレート・ココア協会 東京都港区	品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見 品質保持期限及び賞味期限の用語については統一することが消費者及び製造者にとっても望ましいものと思慮するものであります。統一にあたっては「賞味期限」を用いることが適切と考えますので、特段の配慮をお願い申し上げます。 「理由」 1. 菓子類については、すでに「賞味期限」による表示が消費者に浸透し、定着しており、ほとんどの菓子類は「賞味期限」による表示となっている。これを変更することは、消費者に混乱をもたらすとともに、菓子メーカーに新たな負担を強いることとなる。 2. 「賞味期限」は食品の特性に相応しい表示であり、品質保持期限が食品以外にも使用される表示であるのに対し、品質特性を十分に保持しようという意味も含んでいるものと思慮する。 3. 「賞味期限」表示は文字数も少なく、複雑多岐の表示が要請されるようになっている現今の状況から、表示のスペース、見易さなどを考えると妥当な表示である。	賞味期限

51	(株)藤田精麦 愛媛県西条市 食品流通業	現在、賞味期限を使用しています。器具もそれで揃っていますし、4文字なのでスペースも少なく済みます。もし、6文字になってしまったら、はみ出ると困ります。	賞味期限
52	天恵製菓株式会社 長野県下伊那郡	<p>農林水産省のホームページにおいて、品質保持期限及び賞味期限の用語の統一等についての意見の募集の案内を見て当社といたしましての意見を提出させていただきます。</p> <p>まず、統一についての当社の希望するところは</p> <p>統一する事は反対ではないがその場合、賞味期限に統一していただきたい。</p> <p>もし、品質保持期限に統一する場合、完全実施までの猶予期間を2年は取っていただきたい。</p> <p>なお、その場合完全実施前での流通・販売業者様からの前倒しの強制がないようにご指導願いたい。</p> <p>(製造日表示から賞味期限表示への変更時のように)</p> <p>理由</p> <p>流通菓子業界においては、ほとんどが賞味期限表示を採用しており、消費者の方々も流通・販売業者様も慣れ親しんだ表示だと考えます。</p> <p>また、当社も含め印刷物の改版に伴う費用は、多大なものとなります。これはすべてメーカーのコストアップならびに利益圧縮となります。</p> <p>当社においても、印刷物1つにつき版代だけでも約20,000円、200種類程度の改版が必要となり、それに人件費と包装資材の切り替え時のロスを含わせると、1,000万円を超えると予測されます。</p> <p>これだけの費用は当社の存続を脅かすほどの金額となります。</p> <p>もし、品質保持期限表示への統一となった場合、包装資材のロスを極力少なくするためには、夏物・冬物等シーズン商品もあるため最低準備に2年はかかります。</p> <p>これができない場合資材の廃棄ロス、処分費用と共に今問題になっている、ごみを増やし環境問題にも悪影響を及ぼします。</p> <p>なお の条件が満たされたとしても、流通・販売業者様からの改正の前倒しの強制もしくは販売拒否がありますと、実質的には賞味期限表示の在庫包装資材の廃棄をせざるおえません。</p> <p>以上が、当社を初めとして、流通菓子製造業者全体の偽ざるところと認識しております。</p> <p>何卒、本件につきましては賞味期限への統一をお願いしたく、意見書とさせていただきます。</p>	賞味期限

53	カゴメ株式会社 東京都中央区	<p>1. 品質保持期限及び賞味期限の用語統一について</p> <p>【意見】 統一する必要はない</p> <p>【理由】 弊社は「賞味期限」を表示して5年が経過しました。2001年度には年間で23700件のお客様フリーダイヤルのお問合せ電話を頂戴し、そのうち期限表示へのお問い合わせは4178件であります。 「賞味期限を過ぎたが、食べられるか、交換可能か」が大部分でありまして、問い合わせ内容、件数は製造日付表示の当時と大差はありません。 「賞味期限は不適切であり、品質保持期限に変更すべき、あるいは用語を統一すべき」とのお客様のご意見はこれまで承っておりません。 用語が定着しつつあると考えられ、現行ルールで問題はないと考えます。</p> <p>2. 統一するとしたらどちらを用いるべきか</p> <p>【意見】 賞味期限とすべき</p> <p>【理由】 「消費期限」「品質保持期限」「賞味期限」の3つの用語がありますが、あえて統一するならば、衛生危害防止の観点から、と 区別しやすいものにすべきと考えます。 「消費期限」は危害防止面から必要な用語であります。 「品質保持期限」はとの区別が困難な用語と考えられます。 「賞味期限」はとの差異を理解しやすい用語と考えられます。</p>	統一不要
54	社団法人全国清涼飲料工業会 東京都中央区	<p>用語を統一することであれば、「賞味期限」の方が、実際の表示でも、又、マスコミの用語でも一般的に使われており、消費者にとっても理解しやすい。清涼飲料水においても「賞味期限」の表示に統一されているので、「賞味期限」の用語に統一してもらいたい。</p>	賞味期限
55	愛媛県松山市 男 64 無職	<p>1 用語を統一するべきか 統一するべきです 理由 わが国の平均的消費者が、賞味期限(品質保持期限)又は品質保持期限(賞味期限)という表示を見た場合、用語の法律上の定義を正しく理解している者は少ないので、分かりにくいという感じを持つ者が多いはずです。 用語を統一し、その周知徹底をはかるべきは自明と思います。</p> <p>2 いずれの用語を用いることが適切か 品質保持期限です 理由 法律用語としての「賞味期限」でなく国語としての「賞味期限」は、おいしく食べ得る期限と受け止める消費者が多いと思います。 消費者が表示に求めるべきは、「おいしく食べ得る期限」よりも法律用語の定義により近い「食品の安全期限」だと考えています。 品質保持期限の方が、国語的には安心して安全にべ得る期限と直ちに理解され、平均的消費者に発信するに適した用語だと考えます。</p>	品質保持期限
56	東京都大田区 男 33 製造業	<p>「品質保持期限」として用語を統一すべきだと考えます。 理由は、飲食にあたり健康を害さないことを鮮度として保証する見地からも、「賞味期限」のような、味の保証を表したような表記は控えるべきと考えます。</p>	品質保持期限

57	横浜市保土ヶ谷区 男 43 食品流通	<p>品質保持期限及び賞味期限の用語の統一について意見ですが、消費者側としては、賞味期限(含む、消費期限)に統一した方が良いと考えます。</p> <p>特に、食品の微生物面に関する部分を重要とした場合は、賞味期限(含む、消費期限)が判り易いです。</p> <p>品質保持期限では、機能、物性を現している部分が強くあり、微生物面のアピールが弱く、期限を越えても、機能、物性が落ちるだけで、喫食可能な印象を与えます。この為、期限を越えて使用される危険が伴います。</p> <p>しかし、賞味期限(含む、消費期限)は、期限内に、必ず、賞味(喫食)しなければいけないとの印象を消費者に与え、消費する側に、期限内に賞味(喫食)しようとする能動的な効果が得られると考えます。</p> <p>以上、意見いたします。</p>	賞味期限
58	社団法人日本水産物貿易協会	<p>品質保持期限及び賞味期限の用語の統一について</p> <p>1)主婦の一般的意見</p> <p>賞味期限の表現の採用が望ましいと考えます。</p> <p>理由:</p> <p>その他の第3の新しい表現を採用することは、決定に時間がかかる、消費者を始めとする関係者に周知する為の努力を必要とするなどの欠点があり、既に使われている2つの言葉のいずれかを採用されることが望ましいと思います。</p> <p>品質保持期限及び賞味期限のいずれかが適当であるかですが、国民一般的には、誤解を生じない限り、簡素な方が表現として受け入れ易く、当協会の会員及び何人かの主婦などに尋ねたところ、賞味期限の方が親しみやすく、馴染んでいるとのことでした。</p> <p>2)水産関係の会社としての意見</p> <p>既に「品質保持期限」、「賞味期限」とも使用されて年月も経過しており、消費者には認知を受けていると思われます。</p> <p>従って、現状では特に統一の必要はないと考える。</p> <p>理由:</p> <p>期限表示に関連しますが、消費者はこの両方の用語について、期限切れすなわち飲食に適さないとの認識が通っているのが実情と思われます。</p> <p>業界では期限設定の際に、品質・賞味が保証される期限の少なくとも70 - 80%の期限で設定している事が消費者に充分理會してもらえ様に業界を含め関係各位で努力することが大事ではないかと考えます。</p> <p>上記、消費者側及び生産者或いは関係業者側の意見です。</p>	賞味期限(個人としての意見)、統一不要(事業者としての意見)
59	札幌市東区 女 53 (社)北海道消費者協会	<p>「品質保持期限」と「賞味期限」の用語は統一すべきと考えます。</p> <p>その理由は、食品の表示が複雑かつ多様になっている現在、より簡単で分かり易い表示が求められているからです。</p> <p>いずれの用語が適切かといえば、「賞味期限」が適当と考えます。その理由は、</p> <p>「賞味期限」の用語は期限表示が制度化される以前にあった「賞味期間」という言葉と似ているため、一般消費者に受け入れやすい。</p> <p>それに対し、「品質保持期限」の用語は固くてむずかしい(?)うえに、新しい言葉で耳慣れない。</p> <p>「賞味期限」の用語の定義はJAS法にあるが、一般消費者の多くは簡単に「おいしく食べられる期限」と解釈している。</p> <p>実際、定義にある「その製品として期待されるすべての品質特性を十分に保持しうると認められる期限」以内であれば、おいしく食べられる。</p> <p>また、「賞味期限」の用語には、期限が過ぎると味は落ちるが、まだ食べても安全であるというニュアンスがある。</p> <p>それに対し、「品質保持期限」の用語は、期限が切れると品質がどんどん落ちて、食べられないというニュアンスがある。</p> <p>従って、期限が切れてもまだまだ食べられるのに、捨ててしまうという消費者が多く存在する現在、「賞味期限」の用語の方が、分かり易く、かつ、廃棄率を抑える効果が期待できると考えます。</p> <p>なお、「消費期限」の用語は必要でしょうか。一般消費者にどれほど理解されているか、疑問です。「賞味期限」の用語一本で期限表示は十分と考えます。諸外国でも、「消費期限」と「賞味期限」の二本立ての国が多いのでしょうか。</p>	賞味期限

60	熊本市宇土市 男 50 団体職 員	誰でも、安全な食品を安心して摂取したい。品質の保持には、行政での審査という大枠の安心感を持ちたいという思いは、昨今の食品の品質保持に関わる不祥事に辟易している国民の切なる願いと思われます。簡易な言葉で分かり易く、その食品の品質の安全摂取な期限ということで「品質安全期限」という表示にすれば誰の目から見ても分かり易く、安全に摂取できる期限という安心感を抱くことが出来、又、用語統一することで食品行政を身近に感じることができるのではないかと思います。	その他（新語：品質安全期限）
61	紀州食品株式会 社 和歌山県伊 都郡	1. 統一について 統一すべきである。消費者も生産者も一本化した方が判りやすい。 2. 名称について 賞味期限にするのが良い。両用語共、意味は同じであるが賞味期限の方が美味しく食べられると云う商品のイメージが良い。	賞味期限
62	日清製油株式会 社 製油プロダク ションセンター 横浜 市磯子区	今回の「食品の表示制度に関する懇談会」中間取りまとめにおいて、品質保持期限及び賞味期限の用語の統一を図ることについては異議あるものではありません。但しこの用語の統一について以下の様にコメントいたします。 「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」は品質がいつまでもつかの違ひはあります。当社商品（食用油）のように1年から2年の間（未開封）では化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を今後も期限表示の用語として継続して使用することが適切であり、強くこの点を望むところであります。また消費者サイドにおいても「賞味期限」は既になじみが深いものであると判断しております。	賞味期限
63	北日本月湯食品 株式会社 新潟 県西蒲原郡	賞味期限に統一していただきたく、お願いします。 【理由】 1. 現在、ピケット類は、賞味期限表示を行っており、すでに消費者に定着している。 また、最近が表示すべき事項が複雑多岐になっているため、表示スペースや見やすさ等を勘案して、より字数の少ない賞味期限の方が望ましい。 2. 品質保持期限という用語は、食品以外にも使用されている一般的な表現であるのに対し、賞味期限は食品にふさわしい表現であり、賞味を十分に保持しようという意味合いも併せ持つ用語である。 3. 品質保持期限が採用されると、全菓子メーカーに新たに改版等を含めたかなりの経費負担を強いることになる。 4. なお、賞味期限が採用される場合、消費者にとって消費期限とまぎらわしいので、用語の違いについて、PRや解説書等で啓発されるようお願いしたい。	賞味期限
64	佐藤清治製麺	今回の賞味期限等の用語統一にあたっては、一品あたり印刷版の変更で最低25000円～30000円の経費がかかります 全商品の変更が必要となれば商品ラベル及びパンフレット等で300万円以上の経費が必要となり、零細及び中小企業の食品製造業においては経営上かなり大きな負担となることは避けられません また行政の決定の為変更となれば当事者はむろん全国のメーカーより多大な資材がゴミとなりその処分にも多くの経費がかかります これではダブルパンチです とても耐えられません この事が全国規模で展開されれば環境問題とリサイクル等の面からも矛盾を感じざるを得ません この様な点での経費及び環境問題も熟慮された上での決定をお願いしたい 当社はこれまで通り賞味期限でいきます	賞味期限

65	株式会社 ブルボン 新潟県柏崎市	<p>賞味期限に統一していただきたく、お願いします。</p> <p>【理由】</p> <p>1. 現在、ビスケット類は、賞味期限表示を行っており、すでに消費者に定着している。</p> <p>また、最近では表示すべき事項が複雑多岐になっているため、表示スペースや見やすさ等を勘案して、より字数の少ない賞味期限の方が望ましい。</p> <p>2. 品質保持期限という用語は、食品以外にも使用されている一般的な表現であるのに対し、賞味期限は食品にふさわしい表現であり、賞味を十分に保持しようという意味合いも併せ持つ用語である。</p> <p>3. 品質保持期限が採用されると、全菓子メーカーに新たに改版等を含めたかなりの経費負担を強いることになる。</p> <p>4. なお、賞味期限が採用される場合、消費者にとって消費期限とまぎらわしいので、用語の違いについて、PRや解説書等で啓発されるようお願いしたい。</p>	賞味期限
66	相模原市 男 45 会社員	<p>賞味期限にて統一</p> <p>理由 加工食品市場における表示の80%以上が賞味期限である。</p> <p>表示上、全ての商品に対応が可能なり得る文字数は4文字が限界。</p> <p>親切表示として製造年月日表示も容易となる。</p> <p>消費者にたいして1つの表現が誤認回避となる。</p>	賞味期限
67	神奈川県横須賀市 男 49 会社員	<p>品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見を提出いたします。</p> <p>食品であれば「賞味期限」が適切と思います。</p> <p>「品質保持期限」では、その期限を過ぎると本来の目的として使えなくなる、つまり食品の場合であれば腐る、変質するなど食用に適さなくなる、と読み取れてしまいます。</p> <p>実際に買い置きの食品で期限を過ぎてしまったものであっても、十分に美味しく食べられるものが多く、品質を保持していない、食べられないと言われても納得できません。味覚に特に敏感なメーカーの方であれば、当初の美味しさには適わないのかもしれませんが、「賞味期限」であれば納得いきます。</p> <p>「品質保持期限」はフィルム、ペンキなど、色が変わってしまったり固まってしまったり、というものに表示すべき表現と思います。</p> <p>海外の「Best before」も「最も美味しく食べられる期限」という意味と解釈するのではないですか？</p> <p>食品に長く携わってきた農林水産省の感覚の方が消費者の意識、感覚を正しく反映していると思います。</p> <p>厚生労働省の感覚は医薬品の有効期限や使用期限の感覚から来ているのではないのでしょうか。</p> <p>なお、腐る可能性の高い食品には、生ものですから…という注意書きが今でもなされていると思いますが、これを義務化したらいかがでしょうか。</p>	賞味期限
68	横浜市磯子区 男 46 会社員	<p>食品の期限表示に関し、以下の印象が一般的と考えられます。</p> <p>品質保持期限 安全に食べる事ができる期限。(これを 超えると衛生面での危害発生の可能性が在る)</p> <p>賞味期限 おいしく食べる事ができる期限。(これを 超えると風味的な劣化の可能性が在る)</p> <p>実際には、一般調味料、冷凍食品類、等の 大半の加工食品において賞味期限を超えた時点から食品衛生面で安全性を失うような例は 考えにくく、これらを品質期限表した場合、実態と印象が大きく異なる懸念があります。</p> <p>食品に関する安全性確保は当然 重要ですが、必要以上に食品安全面に誤解を与える表現は妥当性があるとは思えず、これらの加工食品には 賞味期限表示が適していると考えます。</p>	賞味期限

69	横浜市金沢区 男 59 会社員	<p>品質保持期限及び賞味期限の用語の統一については一消費者として賛成です。 その場合、「賞味期限」に統一することが適切であると思います。 理由は次の通りです。</p> <p>特別なものを除き、殆どの食品は通常の保管をしている限り、急に食に適さなくなることはなく、徐々に劣化するものと思います。また、メーカーが食品の品質保持期限または賞味期限を決めるに際、ある一定の安全率をみているのではないかと思います。 そのような観点から、冷蔵庫から出した食品が「品質保持期限」と言う表現の場合、期限が過ぎた翌日はまだ充分食べられる食品であるにもかかわらず、品質が保持できていないと考え、廃棄処分する気持ちが働くと思います。 それに比べ「賞味期限」表示なら、自分で確認し、この位なら食してみようという考えも出てくると思います。世界全体に食糧危機が叫ばれています。食べられる食品は廃棄すべきではないと思います それと、「賞味期限」と言う言葉は、既に世間に定着した用語になっていると思います。</p>	賞味期限
70	第一食品工業 (株) 大阪市天王寺区	別紙2	賞味期限
71	東宇和郡 女 5 3 団体職員	別紙3	その他(新語:味(あじ)期限)
72	(会社)	<p>1.併用のままが良いと考えます。 理由:統一した場合、表示を変更する商品が出て、混乱が懸念されます。 2.もし、統一する場合は「品質保持期限」が良いと考えます。 理由: 薬酒は、嗜好品とは違い、「賞味」という言葉が適当とは思われません。 「賞味期限」とした場合、「消費期限」と混同される懸念があります。</p>	統一不要
73	東京都世田谷区 男 66 会社員	<p>「品質保持期限」と「賞味期限」に就いて</p> <p>この二者択一に限るのでしょうか？ 多少、味が変わっても無駄の無い様にすべきだと思います。 安全衛生上、細菌、カビ乃至は酸化が発生する以前であれば、廃棄や回収する必要は無いと思います。故に「可食期限」乃至は「安全期限」とすべきだと思います。 また、室温に保管した場合、冷蔵庫に保管した場合、冷凍庫に保管した場合、等の条件により、「期限」が異なる筈で、それを同一に表示すると云うのは科学的ではないし、意味の無いことだと思います。 本来は「製造年月日」を記載し(以前はその様な時期があったと思います)、購入した人がどの様に保管してあったかで判断すべきだと思います。 その際、「可食期限」も併記してあれば理想的だと思います。基準として室温で保管して問題のない期限を「可食期限」とすべきで、冷蔵庫で保管した場合は「可食期限」は延びる事を知らしむべきだと思います。 今の様に「品質保持期限」や「賞味期限」を過ぎた物を回収したり、廃棄するのは食糧の無駄使い、飽食の驕りだと思います。</p>	その他(新語:安全期限又は可食期限)

74	(個人)	<p>表示方法の用語統一について意見募集がありましたが、この問題の本質は、用語統一に至る原因についての根本的解決が優先されるべきだと思いますので意見を述べさせていただきます。</p> <p>期限表示に関して一番重要なのは、消費者に判りやすく誤解を与えないことである。</p> <p>消費者にとっては、提供者(製造者や販売者)の責任で安全を保証してくれる。</p> <p>質(その商品がもつ本来の価値)を保証してくれる。</p> <p>の二点が重要である。 しかるに、混乱は安全を保障する = 質(味覚、におい、色など、その商品がもつ本来の価値)を混同し明確な整理が出来ていない点に原因があると思われる。つまり、食べては安全であるが色が褪せておいしそうに見えない、味が変わっていて美味しくないという次元の異なることを無理やり一つにし国が責任を持つという図式になっている。</p> <p>実例として、キムチのように味が経時で変化し、それぞれの段階で美味しさが異なる場合、美味しさの基準が人により異なる為期限表示は限定できないはずである。また味が多少変化していても美味しさが自分の基準に合っていれば、安全さえ確認できれば食べてしまう。このようなことが世の中にたくさんあることを消費者は経験的に知っている。もかかわらず、国が安全の基準のみならず質の基準までも決め付け両方を期限表示で縛っていることが消費者を混乱させる原因になっているといえる。よって次の点に基本的問題があると思う。</p> <p>提供者がまずいもの(消費者が納得しないもの)を売れば消費者が離れていくことは自明の理である。国に必要なのは安全の基準作りであり、決して美味しさの基準作りではない。美味しさの基準は提供者と消費者の自己責任に任せるべきである。</p> <p>以上 余談一席 栄養学校に通う茶髪のお嬢さんの疑問 NHKの番組「プロジェクトエックス」で夕張メロンのことが取り上げられましたが、メロンは「生産者の糖度管理と食べ頃表示」がポイントでした。「食べ頃表示」って広い意味で期限表示ではありませんか？それって国が管理しないのですか？ それを聞いた私の感想 そこまでしなければならぬ人にメロンを食べる資格はありません！！</p>	その他
----	------	---	-----

75	横浜市港南区 男 46 会社員	意見:これら用語は統一すべきと考える。また、統一するとした場合その用語は「品質保持期限」とすることが適当であると考え。 理由:人間の生活にとって欠くことのできない食品について、その品質はなんだろうか、と考えた場合以下の二つに集約されると思う。 (1) 安全であること。 (2) 美味しいこと。 また、これら品質を保証し、消費者の健康・衛生を増進していくためには、これら「期限」の持つ意味を消費者が正確に理解していることが大切である。しかるに、現在は2通りの表示方法があるために、一般消費者はその両者の間に意味の相異があると考えていると思われる。即ち、「品質保持期限」については、その日を越えると品質が保たれない。従って、その日を越えた食品は食べられない(食べない方がよい)と理解しており、一方「賞味期限」については、その日を越えると味が悪くなるが、それ以外の品質については特に問題は無いので食べても安全と考えているのではないかと思う。即ち、一般消費者は両者は異なる定義であり、「賞味期限」の方が「品質保持期限」より短いと理解しているのが一般的ではないかと思う。食品の安全を守るのは、製造者のみの責任ではなく、消費者もそれなりの意識を持つことが重要であり、そのための消費者に対する教育・告知も非常に重要であることは疑うべくも無い。 しかるに、上に述べた様な状況は(期限に関する表示が2通りあること)消費者を惑わせ、誤解させるものではあっても、消費者に正しい理解を促すものではない。従って、その意味から「期限表示」の用語は統一すべきである。 また、「品質保持期限」の方が適切であるとの意見は、上に述べた様な一般消費者の理解(と私は思っている)を考えた場合に、その意図するところを最も正確に表現する言葉であるからである。 最後に、上にも述べたが用語統一をすれば良いのではなく、それについてその意図するところを消費者に知らせ、食品に由来する種々の問題を回避するための努力を関係各機関が推進することを切に望む。	品質保持期限
76	大阪府堺市 男 47 団体職員	1.用語は統一すべきである。 2.統一する用語は、「賞味期限」の方がいい。理由には、「賞味期限」の方が慣れ親しんできた頻度が高いこと、覚えやすいこと、字数が少ないことが上げられる。	賞味期限
77	静岡県 田方郡 男 会社員	「賞味期限」に統一して頂きたい。 理由 現在、我々が一般的に良く見受けるのが、賞味期限の表示であること。 意味からして、その期間内であれば、賞味(おいしく戴ける。)できる とのイメージがし易い。	賞味期限
78	全国豆腐油揚げ商 工組合連合会東 京都台東区	期限表示の用語は、少なくとも事業者において現用語が定着したと思われますが、統一するとすれば次が適切と考えます。 1.賞味期限 (理由) この用語に馴染んでおり、当業種もこの用語が使われていると想定される。 文字数が短く表示しやすい。消費者にとっても簡潔かつ身近な言葉で分かりやすいのではないかとと思われる。 2.用語統一に当たって検討が必要と思われる事項 (1)両用語について、食品の種類、包装の内容等による使われ方の調査 (2)両用語の意味について、消費者の理解に相違があるか否か等の調査	賞味期限
79	株式会社松屋栄 食品本舗 愛知 県犬山市	用語は賞味期限のほうが適切だと思います。 理由:品質保持期限も意味は同じと理解できますが、賞味期限のほうが一般消費者に対して分かりやすいと思います。	賞味期限

80	(社)全国はちみつ公正取引協議会 東京都中央区	別紙4	統一不要
81	株式会社シマヤ 山口県新南陽市 男 40 食品製造販売業	【賞味期限】の方が良いと考えます。 理由：品質保持期限という表現に比べて、賞味期限の方が「おいしく食べられる期限」という意味がより伝わる感じがすると考えるからです。また、お客様に解りやすい表現であること、一括表示やコピーなど商品に印刷されている文字数が増えている昨今、簡潔な表現が望まれると考えます。	賞味期限
82	群馬県食品衛生協会 前橋市	別紙5	品質保持期限
83	兵庫県連合婦人会 神戸市中央区	別紙6	品質保持期限
84	東京カリント (株) 板橋区	別紙7	賞味期限
85	北海道食品衛生協会	別紙8	品質保持期限
86	東京都千代田区 男 48 会社員	期限表示の統一に反対します。 食用植物油の場合、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶入りで約2年、プラスチック容器入りでも約1年というかなり長期間です。一般消費者はいつまで持つかの期限よりも、いつまでおいしく食べられるかの期限を欲していると考えられることから、「賞味期限」を表示した方が判り易いと思います。	賞味期限
87	東京都世田谷区 男 57 団体職員	1 意見 食品の表示期限を示す用語として、「賞味期限」が適切であります。 2 理由 「品質保持期限」の語感、品質維持の終期、換言すれば「これを過ぎれば危険である」との響きを有します。したがって、食品としておいしく賞味する期限は、これより以前にあるとの誤解を与えかねないものであります。 食品を供給する立場からすれば、消費者の皆様に「より良い状態で召し上がっていただくこと」が重要であり、その期限を明確にすることは製造技術に課せられた重要な課題であります。単に品質や安全性が維持される響きを有する用語ではなく、供給者が自信を持って賞味いただけるとして提示するとの理解が得られる表示が望ましいと考えます。 英語の正確な理解は分かりかねますが、CODEXに規定する "Best Before" は「賞味するのに最も良い期間」と解することが適切であり、このような国際用語との統一も、食品がボーダーレスに流通する時代においては重要なことと考えます。 「賞味」とは、まさに日本語として美しい言葉であり、イメージが明確に伝わる表現であります。日本語を大切にする立場からも、無味乾燥な表現は敬遠したいと考えます。	賞味期限

88	川崎市幸区 男 48 会社員	「品質保持期限」及び「賞味期限」の用語を統一する必要はないと判断致します。 理由：一般に、「品質保持期限」もしくは「賞味期限」の意味を理解しており、これらの期限を過ぎた食品を食べることは躊躇するものと思われます。 むしろ、「消費期限」と「品質保持期限」の定義およびニュアンスの差が理解しにくく両者を混同してしまうのではないかと推察致します。 従って、統一しなければならないのであれば、「賞味期限」に統一すべきであると考えます。	統一不要
89	横浜市港北区 男 46 会社員	上記のパブリックコメント募集に関して、食品メーカーに勤務する会社員としてまた一消費者としての意見を述べさせて頂きたいと思います。 意見：品質保持期限及び賞味期限の用語をあえて統一する必要は無いと考えます。 もし用語統一が必須であるのであれば、「賞味期限」へ統一する方が適当と判断致します。 理由：どちらの用語で記載してあっても、消費者はこの期限を過ぎた食品を食べることは無いと思われます。すなわちどちらの用語も既に認知されているものと思われます。 もし用語統一が必須である場合には、品質保持の「品質」という言葉が何を意味しているのか、「賞味」という言葉が何を意味しているかを考える必用があります。 「品質」という言葉は漠然としており、ある品質は保持されているが不味くて食べられないという場合があるのではないのでしょうか。 一方、「賞味」という言葉は「美味しく食べられる」ということを意味していますので、「賞味期限」の用語の方が適当であると判断致します。	統一不要
90	東京都豆腐商工 組合	別紙9	賞味期限
91	味の素製油株式 会社 東京都千 代田区	別紙10	統一不要
92	(社)日本パスタ 協会	別紙11	賞味期限
93	日本農産缶詰協 会 東京都中央 区	別紙12	統一不要
94	千葉市稲毛区 男 67 団体職 員	別紙13	統一不要
95	明治製菓株式会 社 東京都中央 区	別紙14	賞味期限
96	東京都練馬区 男 73 団体役 員	別紙15	統一不要

97	(社)栄養改善普及会	別紙16	賞味期限
98	千葉県習志野市女 30 食品流通	食用油脂の場合、品質が保持される期間が化学的な分析値では殆んど変化が現れず、風味の劣化についても缶で約2年、プラスチック容器でも約1年と長期間である。一般消費者はいつまで品質が保持されるかということより、いつまで美味しく食べられるかの期限を欲していると考えられるので、従来どおり「賞味期限」を表示したほうが良いと考える。他の商品の場合は、その性質により「賞味期限」という表現がふさわしくない場合もあり、いずれも現状の表示が最も個々の商品に合った表示方法といえますので、用語の統一には反対します。	統一不要
99	横浜市戸塚区女 42	「品質保持期限」と「賞味期限」の用語統一について以下のとおりコメントいたします。 食品には、従来どおりの「賞味期限」表示が適切と思います。 「賞味期限」は、食品で使われており、最も美味しく食べることができる期間。 「品質保持期限」は、品質がいつまで持つのかという期間とではないかと思います。 「品質保持期限」から受ける印象は、なにか無機質的な感じがして医薬品のように使用(食する)する期間が決められていて、この期間を過ぎると食してはいけないのではないかと印象を受けますが、 「賞味期限」は、賞味期限は、最も美味しく食べられ期間であり、その期間を過ぎても美味しく食べられるという印象があります。 実際、賞味期限を過ぎたものでも、十分に美味しく食することが出来ています。 賞味という感じの意味からは、食を通じての家族団欒というイメージも湧いてきますので、従来どおり食品に使用していくのが好ましいのではないかと思います。	賞味期限
100	山梨県消費者団体連絡協議会甲府市	別紙17	賞味期限
101	安全食品連絡会和歌山県橋本市	別紙18	品質保持期限
102	(個人)	用語は統一すべき…… 同義用語の表現が二つ有ると使用者にとって、煩雑で、分かりにくい 「賞味期限」理由 ・分かりやすい ・世の中で一般的 ・なれている	賞味期限
103	理研農産化工(株)福岡工場 福岡市東区	用語について 「賞味期限」の表示に是非統一お願いします。 理由としては 「賞味期限」は、製造直後とほとんど殆ど遜色がないおいさで頂ける期限という意味合いが強いと思われます。 一方、「品質保持期限」という言葉から受ける意味あいとしては、その期限を1日でも過ぎると品質が保持されないという印象を強く受ける様な気がします。 食用植物油脂の場合は、この「賞味期限」という言葉を使っており、変えると顧客に対し混乱を招く可能性もあるます。	賞味期限

104	都内北区 男 58 団体職員	<p>1. 期限表示の名称について 「賞味期限」の使用を希望します。</p> <p>2. 理由 厚労省が以前出された見解を読むと、品質保持期限は飲食に供しても大丈夫であるという期間の終期を示していると考えます。一方、賞味期限は期待される品質特性を十分保持できる(おいしくいただける)期限を示しており、品質保持期限より更に厳しい期限と考えられます。 消費者はいつまでおいしく食べられるかを知りたいと思っているように思われます。</p>	賞味期限
105	味の素冷凍食品 (株)	<p>用語統一について 「賞味期限」に一本化すべきです。</p> <p>理由 「品質保持期限」と「賞味期限」の定義は、表示方法での保存において、その品質特性を十分に保持すると認められる期間と、全く同内容です。 大半の消費者には、その名称の違いを区分けする法律の違いは認識されておらず、認知率が高いとも思われる「賞味期限」に統一すべきです。</p>	賞味期限
106	千葉県船橋市 男 27 会社員	食用植物油の場合は、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶入りで約2年、プラスチック容器入りで約1年というかなり長期間である。一般消費者は、いつまで持つかの期限より、いつまで美味しく食べられるかの期限を欲していると考えられる事などから、「賞味期限」を表示した方がよい。	賞味期限
107	株式会社 ニチ 口	意見:用語を統一する必要はありません 理由:製造年月日から「品質保持期限」または「賞味期限」の表示が制度化されずで5年が経過した現在、とくに混乱はありません。食品の貯蔵寿命について消費者の理解を支援する用語としておのおの機能しております。	統一不要
108	(社)日本コーン グリッツ協会 中 央区	<p>業務用は品質保証期限とし、末端家庭用については賞味期限に統一していただくことを要望いたします。</p> <p>[理由] 1. ドライミリングとしてのコーングリッツメーカーの製品については、グリッツのほか、フラワー、ホミニーフィールドが連産品として製造され、その殆どが業務用として販売されている。また、その用途も醸造用、菓子用、食品用に限らず飼料用、工業用等と多岐にわたっている。このため、その表示については、賞味期限の考え方は必ずしも馴染まず、現実には品質保証期限として対応している。 2. 品質保証期限は、コーン製品の持つ商品特性とその販売先に対応して、品質を十分に保持しうる最適な表現方法であること。 3. また、一部末端家庭用を対象としたものの表示については賞味期限がすでに定着していること。</p>	その他(業務用は品質保証期限、消費者用は賞味期限)
109	日清製油株式会 社	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については異議あるものではありません。しかし、具体的課題として「賞味期限」と「品質保持期限」の統一について以下の様にコメントいたします。</p> <p>「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり、「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)では化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を継続して表示をしていきたい強く望むところであります。また、消費者サイドにおいても「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限

110	日清オイリオ株式会社食品開発センター 横須賀市	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化について賛同しますが、具体的課題として「賞味期限」と「品質保持期限」の統一について以下の様にコメントします。</p> <p>「賞味期限」と「品質保持期限」は、消費者の受ける印象が異なります。「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあると考えます。当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)、化学的特性値がほとんど変化しない製品は「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」表示を継続して使用していきたい強く望みます。また、消費者も「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限
111	(個人)	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については活発に議論すべきであると考えております。</p> <p>しかし、「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると考えます。</p> <p>「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。</p>	統一不要
112	(会社)	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化について異議はありませんが、具体的課題として「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様なコメントがあります。</p> <p>「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかなど、「賞味期限」と「品質保持期限」とでは、消費者の受ける印象に異なりがあると思われます。</p> <p>当社で製造している食用油のような商品は未開封で1年から2年の間、化学的特性値がほとんど変化しないので「品質保持期限」はなじまないと考えております。</p> <p>従って、「賞味期限」表示を継続して使用していきたいと強く希望しております。</p> <p>また、消費者も「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限
113	日清オイリオ株式会社食品開発センター	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については異議あるものではありません。</p> <p>しかし、具体的課題として「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様にコメントいたします。</p> <p>「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり、「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。</p> <p>当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)では化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を継続して表示をしていきたい強く望むところであります。</p> <p>また、消費者サイドにおいても「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限

114	横須賀市 男 44 会社員	今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については活発に議論すべきであると考えております。しかし、「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると思います。 「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。	統一不要
115	(個人)	今回の「食品の表示制度に関する懇談会」で話題にのぼっている表示事項、用語の統一化については、十分に議論する必要があると考えております。 「賞味期限」と「品質保持期限」は、消費者側の捉え方が微妙に異なります。 また、短期間に明確な品質低下が生じるものと、長期間(数年)にわたって品質低下が少しずつ進むものとは、品質の保持期間に対する考え方や表示ルールが異なるのも、合理的なことと考えます。 従いまして、現状どおりの表示ルールで良いと考えております。	統一不要
116	(個人)	1、用語は統一したほうがよい。 意味する内容が同一であり、さらに使用される商品の区別もされていないこと。 さらに、消費者段階での無用な誤解を避けるためにも、統一させたほうがよい。 2、賞味期間が妥当 現在販売されている商品の内、一部の商品をのぞいて、ほとんどが、賞味期限を採用しているよう思われる。従ってそれに統一したほうが、混乱を最小限にするためにも妥当と思われる。	賞味期限
117	日本チェーンストア協会 東京都港区	「賞味期限」へ用語を統一すべきです。 (理由)食品の素材、添加物を含めた安全基準を保ちつつ、当該食品の価値を損なうことなく食していただける期限と生活者に理解しやすいと考えられる。一方、「品質保持期限」は、開封された食品でも記載された期限まで品質が保持されると生活者が誤認しやすいと考えられる。	賞味期限
118	(個人)	用語は賞味期限のほうが親しみやすく理解しやすいです。	賞味期限
119	大阪府阪南市 男 39 会社員	おいしく食べられる期間を知りたいため、賞味期限がよいと思います。	賞味期限
120	川崎市 女 味の素冷凍食品㈱	最終消費者へのことを考慮すると統一したほうがよいと思います。 統一しない場合は、2つの言葉が同一の意味合いを示すことを明確化する必要性があります。 賞味期限のほうがよいと思います。 理由)1.「賞味期限」の方がなじみがある。 2.品質保持期限 一般消費者には硬い表現と思われる 上記2点です。	賞味期限

121	大阪府泉南郡 男 56 会社員	<p>1. 期限表示について 期限表示は、下記理由により、「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 「品質保持期限」は、食品が劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すものと考えます。 一方、「賞味期限」は、その製品が期待される全ての品質特性を十分に保持しうると認められる期限、すなわち、美味しくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えます。 食品を考えると「美味しくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって、理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまで美味しく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。 「品質保持期限」はこの期限を過ぎると、品質が保持できない、即ち、食べられないと解釈され、廃棄される可能性があります。一方、「賞味期限」は、美味しく食べられる期限が過ぎただけで、まだ余裕があると解釈され、早目に食べようとされと考えます。限りある地球資源を有効に活用する見地からも「賞味期限」表示は適当と考えます。</p>	賞味期限
122	日清オイリオ株式会社 食品開発センター 横須賀市	<p>「賞味期限」と「品質保持期限」は、消費者の受ける印象が異なります。「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあると考えます。当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)、化学的特性値がほとんど変化しない製品は「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」表示を継続して使用していきたい強く望みます。また、消費者も「賞味期限」はすでになじみの深いものであると考えます。</p>	賞味期限
123	大阪府泉南郡 男 59 会社員	<p>1. 期限表示について 期限表示は、下記理由により、「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 「品質保持期限」は、食品が劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すものと考えます。 一方、「賞味期限」は、その製品が期待される全ての品質特性を十分に保持しうると認められる期限、すなわち、美味しくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えます。 食品を考えると「美味しくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって、理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまで美味しく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。 「品質保持期限」はこの期限を過ぎると、品質が保持できない、即ち、食べられないと解釈され、廃棄される可能性があります。一方、「賞味期限」は、美味しく食べられる期限が過ぎただけで、まだ余裕があると解釈され、早目に食べようとされと考えます。 限りある地球資源を有効に活用する見地からも「賞味期限」表示は適当と考えます。</p>	賞味期限
124	(個人)	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については活発に議論すべきであると考えております。 しかし、「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができと考えます。 「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。</p>	統一不要

125	カネボウフーズ株式会社 東京都港区	<p>用語の統一につきましては、統一することが消費者及び製造者にとって望ましいと考えます。</p> <p>なお、下記の理由により、「賞味期限」に統一することが適切と考えますので、特段のご配慮をお願い申し上げます。</p> <p>【理由】</p> <p>1. 現在、菓子類についてはほとんどが「賞味期限」表示を行っており、すでに「賞味期限」による表示が消費者に浸透、定着している。この表示を変更することは、消費者に混乱をもたらすと共に、菓子メーカーに新たな費用負担を強いることとなる。</p> <p>2. 「賞味期限」の用語は、「賞味を十分に保持し得る」という意味合いを合わせ持つ、食品によりふさわしい表現であり、一方「品質保持期限」は、食品以外にも使用されている一般的な表現である。</p> <p>3. 「賞味期限」表示は字数も少なく、現今の複雑多岐にわたる表示が必要とされている状況を鑑み表示スペースや見易さ等を考えると妥当な表現である。</p>	賞味期限
126	(会社)	<p>意見 : 統一は不要と思います。</p> <p>理由 : 全商品、賞味期限としている為です。</p>	統一不要
127	岡山県倉敷市 男 55歳 会社員	<p>1. 消費者の品質保持期限に対する理解は、飲食に供することが適当である期間の終期(いつまで持つか)と考えられる。</p> <p>一方、賞味期限は、おいしくいただける期限として、広く理解されている。</p> <p>2. 品質保持期限と賞味期限では、賞味期限がより厳しい期限と考えられ、消費者へのメリットが大きい。</p> <p>3. 消費者は、いつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限(賞味期限)を知りたがっていると考えられる。</p>	賞味期限
128	ニッコー製油株式会社 水島工場 岡山県倉敷市	<p>1. 用語の統一化について</p> <p>「食品の表示制度に関する懇談会」における用語の統一化に意義ありません。</p> <p>2. 期限表示について</p> <p>期限表示は下記理由により「賞味期限」表示を強く望みます。</p> <p>「理由」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。(当業界の製品については) 食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間である事から賞味期限の呼び方があっている。 消費者においても賞味期限表示はすでになじみの深いものであると考えます。 	賞味期限

129	西宮市 男性 5 3歳 会社員	<p>1. 期限表示に付いて 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えています。 食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間であることから賞味期限の呼び方があっている</p>	賞味期限
130	神戸市東灘区 男性 43 会社員	<p>1. 期限表示について 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えています。</p>	賞味期限
131	消費科学連合会	<p>Q. 品質保持期限及び賞味期限の用語の統一をするべきか A. するべきと考えます。 Q. 品質保持期限及び賞味期限のどちらに統一するべきか A. 「賞味期限」に統一するべきと考えます。 理由1. 当会の会員の日頃の購入行動においては、品質保持期限表示より賞味期限表示のものの方が多く、なじんでいること 2. 品質保持とは、生産者側の発想による言葉ではないでしょうか。消費者にとってはおいしく食べられる期限、賞味期限の方が理解しやすいこと 3. 賞味期限と表示されていてもその期日でもう食べられないと勘違いする消費者が多い現状ですので、品質保持期限とすると絶対的にその期日をすぎると廃棄する消費者が増えると考えられること 上記の理由により賞味期限を推奨したいと考えます。</p>	賞味期限
132	西宮市 男 38 歳 会社員	<p>1. 期限表示について 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えています。</p>	賞味期限

133	神戸市東灘区 男 40 会社員	意見：賞味期限に統一する 理由： 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えらる。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられる。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考える。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられる	賞味期限
134	(個人)	1. 期限表示について 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。 2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。	賞味期限
135	(個人)	期限表示について 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。 理由 1、品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 2、一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。 3、食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間である事から賞味期限の呼び方があっている。	賞味期限
136	アラハタ株式会社 社 広島県竹原市	別紙18	統一不要
137	松永製菓株式会社 社 愛知県小牧市	別紙19	賞味期限
138	全国ビスケット公正取引協議会 東京都港区	別紙20	賞味期限

139	社団法人バスケット協会 東京都港区	別紙 2 1	賞味期限	
140	全国バスケット工業協同組合 東京都港区	別紙 2 2	賞味期限	
141	全国チョコレート業公正取引協議会 東京都港区	別紙 2 3	賞味期限	
142	横浜市栄区 男 65 団体役員(JAS調査会委員)	別紙 2 4	統一不要	
143	千葉県船橋市 女 42 団体職員	別紙 2 5	統一不要	
144	神奈川県三浦郡 男 68 無職	<p>「国際的な規格に則した食品日付表示制度の導入及び日付表示に関連した商慣行の改善」としてOTO諮問会議に問題提起されたことを留意願いたい。(OTO諮問会議報告書一平成5年4月12日https://www.opn.maff.go.jp/answer/enquete.htm?id=32)</p> <p>意見:食品の日付表示は、消費者に適切な情報を提供する「期限表示」の原則を維持し、「賞味期限」に統一すべきである。</p> <p>理由:</p> <p>(1)厚生省の「食品の日付に関する検討会」の報告にある「製造年月日表示は、食品の品質がいつまで保持されるかという点に関して、必ずしも有効な指標とはなり得ておらず、食品の品質保持に係わる情報としては、基本的に製造年月日より、品質保持の期限そのものの表示を行うことの方が有用と考えられる。」と、農林水産省の「食品日付表示問題懇談会」に記されている「消費者へのより適切な情報提供、国際化の現状への対応等の観点から、今後の食品の日付表示制度については、原則を製造年月日から期限表示へ転換することが適当と考えられる。」とした背景は、現在も変わっていない。</p> <p>(2)期限表示の表現に関して、「品質保持期限」と「賞味期限」の統一を当時図ることが無かったことから、日常的に消費者が使う言葉は、結果として、「賞味期限」となっているのが現状。</p> <p>(3)消費者に日常的に使われている「賞味期限」が、上記食品日付表示の検討会・懇談会の結論と異なる結果になってはいないことから、「賞味期限」に統一すべき。</p> <p>(4)改めて、「日付表示制度の改正に当たっては、食品製造関係者、流通関係者、消費者等に誤解、混乱等が生ずることがないように普及啓発に努める等、適切な対応を図る必要がある。」とした「検討会」のむすびと、「行政機関、関係業界等が、消費者に対し食品の日保ち等の特性について十分な情報提供を行うよう努めるとともに、表示される期限の意味や食品の保存方法等についての正しい知識の普及を十分実施すること等が必要である。」とする「懇談会」の結論を統一的に実行することが必要。</p> <p>附記:食品の日付表示に見られる混乱をただすのに、「品質保持期間」と「賞味期限」を単一にすることのみでは不十分。「加工年月日」「販売期限」「陳列期限」などの業界用語が商慣行とされ、製造年月日とともに、不確実で誤認を招く表示となっていることを是正すべき。(私は、OTOに苦情を申し立てた団体に属し、実際に意見を述べる機会を得た一員です。当時の経緯等を詳しくご説明出来れば幸いです。)</p>		賞味期限

145	大阪府 30 男 食品流通	賞味期限の方が良いと考えます。 理由：品質保持期限だと臭いや味、見栄え等の五感により判断する内容がわからないが、賞味期限だと、それらを含めた形での製品の期限が分かる。	賞味期限
146	神奈川県横浜市 神奈川区 男 38 会社員（食 品製造業）	「品質保持期限」と「賞味期限」の用語の統一について、統一するのであれば、「賞味期限」が良いと思います。理由は食品に関して「品質保持」という言葉からはっきりとイメージできないからです。「品質保持期限を過ぎても食べられそうだ」と感じ、消費者にあいまいな解釈を生んでしまうと思います。「賞味期限」なら言葉から『おいしく食べられる期限』とはっきり分かるので、誤解を生むことは無いと思われます。	賞味期限
147	大阪府堺市 男 54 食品製造業	期限表示は、「賞味期限」表示が妥当と考えます。 理由：一般消費者はいつまで品質がもつかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えています。	賞味期限
148	尼崎市 男 55 会社員	一般消費者はいつまで待つよりか、いつまでおいしく安心して食べられるかの期限を知りたいと考えています。	その他
149	横浜市神奈川区 男 41 製造業	食品に対する表示については、「賞味期限」が適切であると考えます。 理由 食品を食べることは、栄養の摂取目的であると同時に、それを楽しむものですが、現代では、後者への比率が高まっていると考えます。従って、おいしく食することが出来るのが何時までかという意味あいの「賞味期限」に対して、「品質保持期限」ですと、これを過ぎた場合には、もう食することが出来ないという意味となるかと思えます。 実際には、「賞味期限」を過ぎても、食することは可能ですし、味も殆ど変わりません。 コンビニのオニギリなどを購入した若者の間では、「賞味期限」を過ぎた瞬間、それをゴミ箱に放り込む事が、笑い話ではなく、広まっているようです。 表示を「品質保持期限」とした場合、これらを助長し、資源の無駄・廃棄物の増加につながると考えられます。	賞味期限
150	神奈川県平塚市 男 47 製造業	品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見 品質保持期限、賞味期限について提案させていただきます。 品質保持期限と賞味期限の用語の統一については一消費者として賛成です。 そして食品の期限表示としては以下の理由により「賞味期限表示」が妥当と考えます。 「品質保持期限」は安全に食べる事が出来る期限で、食品の劣化に伴う食品衛生上の危害を防止する観点からきている言葉だと考えます。 一方、「賞味期限」はおいしく食べる事が出来る期限で、食品を考えると消費者にとっては「賞味期限」の方が理解されやすいし、「品質保持期限」よりも厳しい期限となっていると考えられます。 また一消費者とすれば、いつまでもつかよりも、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えていますので、「賞味期限表示」が適していると考えます。 以上	賞味期限

151	神戸市北区 男 54 植物油製造業	品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する考えから見て食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性をその期間内で認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると思います。	賞味期限
152	日清オイリオ株式会社 横浜磯子事業場 横浜市磯子区	今回の「食品の表示制度に関する懇談会」中間取りまとめにおいて、品質保持期限及び賞味期限の用語の統一を図ることについては異議あるものではありません。但しこの「賞味期限」と「品質保持期限」の用語の統一について以下の様にコメントいたします。 期限表示について 期限表示は以下の理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。 「賞味期限」表示が妥当と考える理由 「賞味期限」と「品質保持期限」については消費者の受ける印象が異なるものであり、「品質保持期限」はいつまでもつかという安全に食べる事が出来る期限であり、これを超えると衛生面での危害発生があると考えられる一方、「賞味期限」はおいしく食べられる期限で、これを超えると風味的な劣化の可能性があると考えられます。食品を考えると「おいしく食べられる期限」の「賞味期限」の方が、消費者にとって既になじみが深く、且つ消費者サイドとしては「おいしく食べられる期限」の「賞味期限」の方が、「いつまでもつか」の「品質保持期限」よりもより知りたい情報であると判断しております。 当社商品(食用油)のように1年から2年の間(未開封)では化学的特性値でもほとんど変化が現れないものについては「品質保持期限」はなじまず、「賞味期限」を今後も継続して表示をしていきたい強く望むところであります。	賞味期限
153	横浜市緑区 男 34 製造業	期限表示の統一化について提案します。 一消費者として統一化されることに賛成です。 どの表示が最適かを考える時にそれぞれの意味合いを比較すると次のようになると思われます。 ・「品質保持期限」はそのものがいつまで持つものなのか。言い換えればその日を過ぎたら使えない(食べられない)。 ・「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるのか。 最近の消費志向は「おいしさ」を求める方向性にあると感じます。とすれば食べられなくなる限度(品質保持期限)を表示するのではなくおいしく食べられる限度(賞味期限)を表示するのが親切であり同じ方向性だと考えます。 すなわち「賞味期限」に統一すべきだと考えます。	賞味期限
154	横浜市栄区 男 54 食品製造	品質保持期限と賞味期限の用語統一については食品の場合「賞味期限」が好ましいと考えます。 食品の場合、消費者が求める品質はおいしく食べられることを期待されていると思います。 品質保持期限ですと科学的な裏付けに基づいた品質を保持する期間と解釈でき、消費者が専門用語や裏付けデータなどを正しく理解するには難しいと考えます。もちろん、メーカーは科学的データに基づき期間を設定することは言うまでもありません。 したがって、消費者に判りやすい表現として賞味期限のほうが受け入れやすく、現に多くの食品が賞味期限表示がなされていることから、納得性が高いと思います。	賞味期限

155	大阪府東大阪市 男 29 食品製 造・販売	<p>1. 期限表示に付いて 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。 食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間であることから賞味期限の呼び方があっていいと考えます。</p>	賞味期限
156	日本食品添加物 協会 東京都中 央区	別紙26	品質保持期限
157	日本輸入チーズ 普及協会 千代 田区	別紙27	品質保持期限
158	日本食品衛生協 会	別紙28	品質保持期限
159	ビール酒造組合	<p>1. 意見 「品質保持期限と賞味期限の用語を統一する必要はない。もし、統一するとすれば賞味期限としたい。」</p> <p>2. 理由 10月4日送付予定</p>	賞味期限
160	大阪府泉大津市 女 29歳 OL	<p>品質保持期限と賞味期限の表示の統一について思います。 品質保持期限が切れると、もう絶対口に入れたくないです。 賞味期限が切れると、火を通せば使いたいとか、利用方法を考えます。 冷蔵庫から2日前の日付の食べ物が出てきて、罪悪感にさいなまれながら捨てるのもつらいです。 でもお店は別で賞味期限の切れた物を出されたとしたらすごく嫌です。 業務用は賞味期限内を守って欲しいと思いますが、個人的には賞味期限を基準に購入したいです。</p>	賞味期限
161	(個人)	<p>「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。 「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。 つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。 保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると考えます。 「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。</p>	統一不要

162	(個人)	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については活発に議論すべきであると考えております。</p> <p>しかし、「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると考えます。</p> <p>「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。</p>	統一不要
163	(個人)	<p>今回の「食品の表示制度に関する懇談会」での検討経緯である、表示事項、用語の統一化については活発に議論すべきであると考えております。</p> <p>しかし、「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については以下の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思います。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると考えます。</p> <p>「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます。</p>	統一不要
164	ポーソー油脂	<p>1. 期限表示に付いて 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しようと認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。</p> <p>一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたがっていると考えます。</p> <p>(当業界の製品については) 食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間である事から賞味期限の呼び方があっている。</p>	賞味期限
165	(個人)	統一すべき 「品質保持期限」を指示します スーパーでは「賞味期限」をぎりぎりで売っているし、表示としては「品質保持期限」の方が商品の品物に対しての安全・心感ははっきりしている。	品質保持期限
166	(個人)	<p>統一しなくてもいいと思う 統一するならば、「品質保持期限」の方にしたい 「品質保持期限」の方がはっきりしている。「賞味期限」はなんとなく曖昧な感じを受ける。お菓子などは「賞味期限」の表示に私達は慣れているし、統一しなくてもいいと思う。統一するならば、「品質保持期限」の方にしたい。</p>	統一不要
167	(個人)	<p>統一すべき 「賞味期限」 賞味期限の方に統一した方が良いと思います。目に親しんでいるし、わかりやすいと思うのです。</p>	賞味期限

168	(個人)	「賞味期限」と「品質保持期限」は同意語に使われているのでしょうか？その言葉から受ける印象は、「賞味期限」…本当味が保たれる期間。「品質保持期限」…食用としての保存可能期間というように思えました。この二つの言葉が同意語として、「賞味期限」の方が分かりやすいと思います。「賞味期限」の言葉は、味も品質も大丈夫という絶対の安心感があるように思います。それを過ぎてから味が落ちても、食用としての品質に問題があるかないかは、保存状態により期間は違い、各個人の判断と責任のように感じます。	賞味期限
169	(個人)	「品質保持期限」に統一 この夏九州大学留学生のホストファミリーとして香港の女子学生(20歳)と過ごし、その時の会話の中に日本って食べ物をどんどん捨てるのでしょうか？我が家では、買い置きを出来るしないと、昔の母達がしていた様に火を入れて出来るだけ粗末にならない様にくふうしていると、話をしておきましたが、そんなふうには外国から見られて、以前のことで、スーパーの台所では、賞味期限切れの品物が毎日捨てられて月に何十万円もお金が捨てられていることを聞いたことがあります、単に原価に加算するのではなくて粗末にしないようにするためには、どうしたらよいのかと思うのですが、世界の飢えの事を考えると胸が痛みますね。	品質保持期限
170	(個人)	解りやすく統一したほうが良い 「賞味期限」 一般的に消費者が食品を購入する際、全てに賞味期限が記載されています。然し、これは美味しく食べられる期限であって、それを多少過ぎても賞味可能であることはあまり知られていません。そのような訳で、賞味期限が過ぎたら簡単に捨てられているのが、現状ではないのでしょうか？さらに、品質保持期限の文言はほとんど目にする機会が少ないように思われます。然るにこれを解りやすく統一したほうが良いとおもいます。統一するとしたら、消費者に馴染みのある賞味期限とし、賞味可能日の幅を持たせて記載するようにしたら如何でしょうか？	賞味期限
171	(個人)	「品質保持期限」 「賞味期限」は味、味覚の方。「品質保持期限」は性質、商品自体のことなので。	品質保持期限
172	(個人)	食品衛生法とJAS法の2本立てになっていることがこの二つ用語を発生させていると思います。言葉自体を考えると「品質保持期限」の方が製造者の責任を明確にさせていると思います。しかし、「賞味期限」の方が多く使われている現状を考えると無理に統一するとかえって混乱が生じるかと恐れます。	統一不要
173	(個人)	「賞味期限」と「品質保持期限」を併記 どちらか片方をといわれると「品質保持期限」の記載を求めます 「賞味期限」と「品質保持期限」の表示についてですが、併記れるのが、消費者にとっては、品質を判断しやすく、親切なのではないかと思ひます。どちらか片方をといわれると「品質保持期限」の記載を求めます。理由は、その製品の「安全性のリミットだと思ひからです。」「賞味期限」が記載されていても、期限過ぎると気になって処分してしまうことが多々あります。「品質保持期限」の表示があるとそういう曖昧さがなくなり、安心して期限内にいただくことができますと思ひます。	統一不要
174	(個人)	どうしても統一するのであれば「品質保持期限」の方が明解でよいように思ひます 食料局品質課よりの用語統一の件ですが、両方共ある方が明確でわかりやすくよいと思ひますが、どうしても統一するのであれば品質保持の方が明解でよいように思ひます。賞味の方はちょっとあいまいな気がします。品質が保持されていれば賞味も保持されているような印象を受けるように私は思ひています。	統一不要
175	(個人)	そもそも「品質保持期限」と「賞味期限」は同一のものでないの、両者を統一すべきか否かを論ずることはおかしい。 「品質保持期限」の表示を求める。 食べ物に安全？美味しさ？どちらの表示を求めるだろうか。いくら安全でも、美味しくないものは食べたくないと高3の娘に言われた。当会に入会して表示について勉強してきた。一括表示欄に求める表示はその商品の安全・安心して食することができる目安の「品質保持期限」の表示は欠かせない。「賞味期限」の表示をしたい商品については一括表示の欄外に表示をすれば良い。	統一不要

176	(個人)	<p>「品質保持期限」</p> <p>現在、食品の表示制度が消費者にとって、どれだけ安全制を示し、安心感を与えていることは非常に重要性をもち、大切な事項である。しかしながら、期限表示用語については、所管する法律により、「賞味期限」「品質保持期限」「消費期限」と異なった3通りがあり、消費者にとっては分かりにくい点があるは事実である。先般、厚生労働省医薬局食品保健部長及び農林水産省総合食料局長の私的懇談会として、内閣府及び公正取引委員会の参画を得て、「食品の表示制度に関する懇談会」が開催されたことは、消費者にとって喜ばしいことである。7月30日の討議内容の取りまとめで、3種類の表示用語を消費者に分かりやすく整理し、統一をはかるべきだと提言されてる。食品の期限表示は、昔からの日本の言い伝えにあるように、「名は体を表わす」「読んで字のごとし」と一言でわかる言葉があるように、一言でわかることが望ましい。以上の主旨より、「品質保持期限」が消費者にもわかりやすく適当であると考えます。1人ひとり考えが違うのは当然のことではあるが、前にも記した如く「読んで字のごとし」これほどよい表示はないではなかろうか。考えの一端を述べさせていただきました。</p>	品質保持期限
177	(個人)	<p>「賞味期限」と「品質保持期限」の統一については次の様に考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は違います。「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつか、安全に食べられるか、言い換えると、期限をすぎれば、食すことができないという意味合いになるかと思われます。食用油に関しては保存できる期間が1年とか2年といったもので、長期間に品質変化がなく、「賞味期限」後も食べれない訳ではありません。そういう意味から「品質保持期限」は馴染みにくいものと考えます。</p> <p>「品質保持期限」も「賞味期限」は、その商品特徴に応じた表示をする、これまで通りの方法が適切かと考えます。</p>	統一不要
178	横浜市磯子区 男 34 会社員	<p>「賞味期限」と「品質保持期限」は、制度上同一とされておりますが、消費者の受ける印象は異なったものがあると思われます。つまり「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあります。</p> <p>保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりないものと、短期間に大きな品質変化が起こるものとは、特徴に応じた表示をしていただいた方が、より適切な商品選択ができると考えます。</p> <p>「品質保持期限」も「賞味期限」もすでに生活になじんだ言葉です。現状を継続していくべきと考えます</p>	統一不要
179	(社)日本植物油 協会 東京都中 央区	<p>(意見) 食品の期限表示の用語については、製油業界としては賞味期限が優れた用語であると考えます。</p> <p>(理由) 食品の表示に関する用語は、商品に関する情報を正確に伝えるものであることが重要であり、用語によって正確なイメージが伝達できないことがあってはならないと考えます。</p> <p>食品衛生法に定める品質保持期限及びJAS法に定める賞味期限は、その意味することは同一であるとのこと説明がなされておりますが、両者の語感には大きい相違があります。</p> <p>品質保持期限は、あたかもその商品が有する品質(安全性、栄養、味覚など)要件のすべてを喪失する終期を示すとの響きを有しております。</p> <p>これに対し、賞味期限は、おいしく食べるために適した期限という意味を強く訴える語感を有しております。</p> <p>私ども製油業界におきましては、安全性や栄養価値は当然の与件とする中で、消費者の皆様にも最もおいしく味わえる期限内に商品を召し上がっていただき、評価いただくことが重要であると考えております。この視点から、賞味期限という用語は私どもの期待することを端的に示すものであり、消費者の皆様にも理解が容易な語感を有しております。</p> <p>食品という情緒豊かな商品には、優しい響きを有する用語を用いることも重要ではないかと思料いたします。CODEXに定める"Best Before" は穏やかな響きを持ち、その意味するところを端的に伝える用語であり、これの邦訳には賞味期限は最も適切であると考えます。国際基準への整合という点においても賞味期限が優れたものと考えます。</p>	賞味期限

180	株式会社銀座 コージコー ナー 東京都新 宿区	<p>当社は、「賞味期限」に統一していただきたく、意見書を提出いたします。</p> <p>理由は、以下のとおりであります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.菓子類については、既に「賞味期限」が消費者に浸透・定着しており、これ以外の表示に変更されると、消費者に新たな混乱をもたらす恐れが大きい。 2.「品質保持期限」が食品以外にも使用される一般的な表現であるのに対し、「賞味期限」は食品のイメージにフィットした表現となっており、品質特性を十分に保持しようという意味合いを包含したびつりの表現です。 3.表示すべき事項が複雑多岐になってきているため、表示スペースや見易さを勘案すると、少しでも字数が少ない「賞味期限表示」の方が望ましい。 4.ほとんどの菓子類は、現在「賞味期限表示」となっており、これ以外の表示に変更されると、菓子メーカーは新たな負担を強いられることとなります。 	賞味期限
181	埼玉県さいたま 市 女 26 会 社 員	<p>現在では、同じ内容を表すにも拘らず「品質保持期限」と「賞味期限」の二つの用語が混用されています。これは食品衛生法とJAS法の違いによる呼び方の違いと理解していますが、同じように食品に付けられる期限表示ですので、統一した方が良いと考えます。</p> <p>また、品質が保たれる期間がおおむね5日以内の食品には「消費期限」と表示されていますので、期限表示に関わる名称が3種類あることとなります。このような状況は非常に煩雑であり消費者を混乱させるものです。「品質が保たれる期間が5日を超える食品」と、「品質が保たれる期間が5日以内の食品」との分け方にした方が分かり易いと言えるでしょう。またそれらの用語の違いを消費者に啓蒙し、理解を深めていただく事が必要と思います。</p> <p>いずれの用語を用いるかですが、「賞味期限」の方が良いと思います。</p> <p>理由は、「賞味期限」の方が一般に普及しているし、消費者からも馴染みのある呼び方と思われるからです。</p> <p>また用語を統一する際には、それまで「品質保持期限」表示をしていた事業者が変更するのに負担が掛からないよう、十分な猶予期間を設けていただきたく切にお願い致します。</p> <p>現実問題として、法律改正による資材変更の労力、資材ロスの発生が多発しており事業者の負担となっております。法律を改正する際は、消費者の立場だけでなく、それを遵守する事業者の立場も十分に配慮いただきたく重ねてお願い申し上げます。</p>	賞味期限
182	(財)島根県食品 衛生協会 島根 県松江市	<p>消費者が食品の安全性を確認する手段として、古来、視覚、嗅覚、味覚にたっており、大方の食品は、これで十分機能していたが、その後、食品の製造加工、販売、流通、保存、消費等の動向が多様化するに伴って、製造年月日の表示から、品質保持期限、賞味期限へと変わってきたわけですが、消費者サイドに立ってということから、もともと母体の違う「食品衛生法」と「JAS法」で用いられていたものを同一のベースにのせて採用したところに違和感があると思います。</p> <p>消費者の感覚からすれば、「賞味期限」では、受ける感じが古来の五官に頼って安全確認をしているようで、本当に信用できるかな、買って食べて見なければ分からないではないか。過去に食べたときの色や味がどうであったから、という消費者の判断以外にメーカー側が一方的に有効期限を押し付けているようで、比較的簡単に判断出来るような、果物や、保存性の低い弁当、惣菜に適用できて、すべての食品には適用が無理なように感じられます。その点、「品質保持期限」であれば、製造者がその期限内は保証してくれているのかなと感じられます。</p> <p>資料の定義を見る限りでは、表現は違っても、同じことを言わんとしていると思いますが、表示の対象が、いろいろなランクの原材料(食材)、いろいろな段階での加工食品、食品と考えてみた場合、統一する必要があるとすれば、「品質保持期限」が妥当だと思います。</p>	品質保持期限

183	兵庫県宝塚市 女 28 会社員	私的には、期限表示は『賞味期限』表示が妥当と考えます。 理由と致しましては、品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の発生を防止できないのではと思います。 食品製造後、飲食するにあたって適当である期間の終期を示していると考えられるからです。 賞味期限はおいしくいただける期限で品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 私たち消費者の目から見ても『安心しておいしく食品をいただける期限』といえば賞味期限になります。 食品がいつまでもつかより、いつまでおいしく食べられるかが知りたいのです。	賞味期限
184	森永製菓株式会 社 東京都港区	賞味期限に統一していただきたく、お願いします。 [理由] 1. 品質保持期限が、食品以外にも使用される一般的な表現であるの対して、賞味期限は食品のイメージに適切な表現であり、賞味を十分に保持しようという意味合いを理解される表現である。 [品質保持期限] 「期限が切れたものは食べられない」との印象を与え、返品・廃棄等が増加し、社会的、経済的に大きな損失となり、環境にも悪影響がある。 [賞味期限] 「期限まではおいしく食べていただける。その後は、品質が低下するかもしれないが、すぐ食べられないという事ではない」という真意が伝わる。 2. 菓子・食品類については、既に賞味期限が消費者に浸透・定着しており、品質保持期限に変更されると、消費者に混乱をもたらすことになる。 3. 現在は、表示すべき事項が複雑多岐になってきており、表示スペースや見易さを勘案し、簡潔で字数の少ない賞味期限表示が望ましい。 4. ほとんどの菓子・食品類は、賞味期限表示となっており、品質保持期限表示に変更されると、菓子メーカーに新たな費用負担を強いることになる。 5. 賞味期限に統一された場合、消費者が混乱しないよう、用語の明確化と消費者へのPRをお願いします。	賞味期限
185	(個人)	品質保持期限・賞味期限の概念は米国の考え方を採用していると認識しています。 米国の考え方では、最善の状態で喫食できる期限を示していると思いますので、現在日本で使用している品質保持期限・賞味期限の文言とは意味合いがかけ離れているのではないのでしょうか？ 元々設定した期限を過ぎたらおいしさが低下するのであって、食べてはいけないという意味ではないと思います。社会的には悪いことと認識されているのは、多少文言の問題もあと言えそうです。 上記の考え方が本来の目的に合致していると考えますので下記の通り提案します。 < 定義 > 製造後の食品のおいしさが最善の状態保持されており、喫食を推奨する期限である。 注) 微生物的安全衛生性は、保存基準を守れば期限以降も確保できることが前提です。 < 文言 > 喫食推奨期限、品質推奨期限	その他(新語: 喫食推奨期限又は品質推奨期限)

186	東京都八王子市 男 55 会社員	<p>(1) 品質保持期限及び賞味期限の用語を統一すべきか</p> <p>[意見]用語を統一した方がよい。</p> <p>[理由] 食品衛生法の定義 品質保持期限「定められた保存方法で、製品のすべての品質保持が十分に可能である期限」</p> <p>JAS法の定義 賞味期限「定められた保存方法で、製品として期待されるすべての品質特性を十分に保持し得る期限」</p> <p>両者は同じ意味のものと理解しています。</p> <p>根拠となる法律が違った為に別々の用語となっているが、消費者も産業界も望んでおり統一に大きな支障はないと考えます。</p> <p>同じ意味でも用語が違っていると、消費者にわかりにくくなっている。</p> <p>(2) 統一するとしたらいずれの用語を用いることが適切か</p> <p>[意見]賞味期限へ統一した方がよい。</p> <p>[理由]店頭の商品を見る限り、大多数のものが賞味期限を表示しております。</p> <p>事業者用商品で期限表示されている加工食品も、賞味期限表示が大多数です。</p> <p>(3) その他の要望</p> <p>用語の変更に際しましては、事業者の負担や包材ロスを考慮して猶予期間を設定していただくようお願いします。</p> <p>用語の変更に際しましては、「消費期限」と「品質保持期限(賞味期限)」の意味について消費者が正しく理解されるように行政からの啓蒙をお願いします。</p>	賞味期限
187	(社)日本冷凍食品協会 東京都中央区	<p>1. 消費者が商品の購入を選択をする時、用語の意味がわかりやすいことが、基本となると思われます。</p> <p>鮮度、おいしさ、価格等が購入の目安となると考えられますので、「品質保持」とした場合は、製造業者の視点に近い表現と思われ、一方、「賞味」とした場合は、消費者の視点に近い表現と思われます。</p> <p>おいしくいただける期限であるとの理解がいただけるならば「賞味期限」に用語を統一できると考えます。</p> <p>2. 「品質保持期限」、「賞味期限」共に同義語であるということを考えれば、6文字より4文字の方が、わかりやすいので、「賞味期限」</p>	賞味期限

188	愛知県菓子元卸 商業協同組合	<p>以下の理由で、現行表示方法を維持するを希望いたします。</p> <p>当組合は組合員数・社、主に名古屋市周辺の零細菓子メーカーの菓子を全国の間屋に卸している零細卸業者の集合体です。現在取り扱っています商品のほぼ・・・%が、賞味期限・表示されていますが、中に品質保持期限・表示が少しあるようです。一般消費者の方々にはこの賞味期限という言葉が一番なじみやすく、定着しているものと考えています。品質保持という言葉からは、嗜好品であるお菓子の温かさが感じられません。しかしながら食品全体を眺めて見ますと、冷凍食品、業務用食品、食品添加物、そのものだけでは口に入らないようなものもありますので、賞味期限表示だけでは充分ではないと考えられます。私たち組合員の中でも菓子以外に食品分野の商品を扱うことが多くなってきましたので、両表示を維持していただきたいと考えます。</p> <p>この数年消費が低迷し、私たち業界(メーカーも含めて)の経営状況が逼迫しています。その上・・・法や食品衛生法の改正などにより、原材料表示などの変更点がたびたびあり、袋などを新しく作り直してきました。これは全てメーカー・・・商品などは、私たち卸業者)の大きな負担になりました。食品の安全問題・・・、無許可添加物、表示違反に対する費用も増え、ここでまた表示の変更があるといよいよ零細メーカー、卸業者の経営を圧迫することは明らかです。また社会コストの無駄です。</p> <p>ただし組合内でアンケートをとりました際に、表示自体の欠点にも言及がありました。それは表示することにより返品が増加しているという事実です。品質保持期限・も賞味期限・も同様にその日が近づく、もしくは越えてしまうと即食べることができないと考える人が多くなっているからです。業者の不良在庫は積極的返品、廃棄処分になる末路があります。家庭内の賞味期限切れの食物も即ゴミ箱へ向かいます。エコの時代へと移ってきたといわれる反面、その陰ではますます食べられるゴミが多く排出される時代になってきている現状があります。表示することにより起こっているそうした事実は大きな問題であると考えます。</p> <p>消費者に対して表示方法の意味を伝える・・・がもっと必要であると考えます。場合によっては食中毒を招く場合もありますので、難しい問題をはらんでいます。食べられるごみを増やさないようにする、啓蒙活動を国が積極的にしていただきたいと考えます。</p> <p>私たち組合員のアンケートの結果だけ見ますと、賞味期限・表示がよいと考えている割合が、62パーセントに達しますが、どちらかというとという感じの選択です。一本化する必要はないと考えます。現在の表示方法を有意義に利用する啓蒙活動をお願い致します。</p> <p>尚組合員46社に対するアンケート結果は次のとおりです。返答数35社・返答率・・・%)</p> <p>賞味期限・表示がよい = 22社 品質保持期限・表示がよい = 7社 現行表示のままでよい = 6社</p> <p>ただしその理由として挙げられていたもので、多いのは、 変更すると無駄なコストがかかる。 期限・は、その日が過ぎると食べられない印象を受ける 両表示の意味合いの違いが分かる様に・・・して欲しい 現在の表示方法が一般に認知されていると思う</p>	統一不要
-----	-------------------	--	------

189	理研ビタミン株式会社 東京都千代田区	<p>意見： 1.用語の統一の是非について 「非」と考える。</p> <p>[理由]</p> <p>(1)加工食品及び添加物は大きく次の3種類に分類される。 複数の素材を組み合わせる調理・加工され製造された食品(例:ハム・ソーセージ、即席麺、ドレッシング、清涼飲料、等) の原料となる素材的食品(例:小麦粉、澱粉、食用油、砂糖、醤油、等) 食品添加物及びそれから構成される食品(例:旨味調味料、ベーキングパウダー、グリセリン脂肪酸エステル等)</p> <p>(2)「賞味期限」は「その食品を直接口にする」を意味するイメージであり、上記(1)の食品に対しては適合するが、(1)及び添加物である(1)のごとくそれを「直接口にしない食品」に対してはイメージが合わず、これらに対しては「品質保持期限」が適当である。</p> <p>(3)「賞味期限」は「必ずしも(衛生上の)可食期間を意味するものではないこと」を理解するに困難ではないが、「品質保持期限」は「品質全体としてより強く可食期間の限定」を感じさせる言葉であり、日付に対する消費者の購買をより厳しくすることが懸念される。</p> <p>(4)従って、その商品の性格により選択される表示方法が好ましい。</p> <p>(5)現在(1)に該当する製品では「賞味期限」が一般的と思料される。この表示を変更することは包装(ラベル)印刷の変更を伴い、製造業者にとっては多大な経費と労力を伴うものである。</p> <p>2.用語を統一する場合 「品質保持期限」とすべき</p> <p>[理由]</p> <p>(1)上記の通り、(1)及び(1)に該当する食品及び添加物については「賞味期限」はなじまない。(1)に対する「品質保持期限」は必ずしもなじまないが、(1)及び(1)を「賞味期限」とするよりまだしもである。</p> <p>3.その他 「直接小売店に陳列される食品又は直接消費者に提供される食品」と「業務用の食品及び添加物」とは区別して表示する方法が考えられる。</p> <p>期限表示の目的は消費者への情報提供を第一義とするものであり、加工業者への情報提供とは区別して考えてもよい。 前者に対しては「賞味期限」とし、後者に対しては「品質保持期限」とする考え方は成り立たないか。</p>	統一不要
190	日本スターチ・糖化工業会、全日本糖化工業会、澱粉糖技術部会	<p>澱粉糖業界においては、平成6年のJAS法改正による製造年月日表示から賞味期限(品質保持期限)への変更に対応して、科学的根拠に基づく期限の設定に努めてまいりました。各種糖化製品について、第三者分析機関である(財)日本穀物検定協会に依頼し、室温における経時変化の分析結果から、製品の品質は1年間以上保持されることを確認致しました。現在、これらの結果を基に、各メーカー毎に期間設定を行っております。用語としては「品質保持期限」を採用しております。</p> <p>なお、「食品の表示制度に関する懇談会」において用語の統一が指摘されておりますが、用語は製品の該当する諸制度に基づき使用されており、その定義や解釈が異なるのは、所管される行政の担当の違いによる、運用制度の違いに基づく面が大きいと思われます。</p> <p>よって、今回の用語統一の問題は、現行の複雑な制度の違いや運用制度の違いにより、発生した混乱であります。このような現状を考えますと、見直しに当たっては、まず、現状の混乱を整理して問題点を明確にした上で、定義の統一、解釈・運用の明確化を図り、既存の各種制度に対して横断的に運用可能な新制度の確立を要望する次第であります。</p>	

191	東京都千代田区 三栄源エフ・エフ・アイ(株)	<p>費者等へのわかりやすさの観点から、賞味期限／品質保持期限という比較的理解しやすいと思われる二つの言葉についても、表示は統一したほうがよく、下記の理由から、品質保持期限という表現に一本化していただきたいと考えております。</p> <p>「賞味期限」(おいしいと言って食べられる期間)という表現は一般食品には適していても添加物製品等への表示は不自然な表現と感じられます。</p> <p>逆に「品質保持期限」は、品質を保証する期間であり、一般食品でも直接そのものを食さない製品(添加物など)でも違和感なく共通して使用できる表現です。</p>	賞味期限
192	全国乾麺協同組合連合会 東京都中央区	<p>用語は「賞味期限」表示に統一した頂きたい。</p> <p>乾めん業界では、昭和61年から乾めん類品質表示基準で日付表示を「賞味期限」と決め問題なく現在に至っております。</p> <p>この間、「賞味期限」表示で消費者から意味等についての質問もなく至っております。しかし、厚生省(当時)が日付表示を「品質保持期限」と発表してから、一部、混乱を予想したが、質問として、乾めんは、「品質保持期限」日付表示に変えないのか等といったことが、消費者からの質問は皆無であった。</p> <p>しかし、厚生省と農林水産省の力関係か。一部流通のバイヤーからメーカーに対して「品質保持期限」の表示を要請された、といったことがあったが、お断りした。</p> <p>このような経過を踏まえ、賞味期限は、乾めんの日付表示として、既に、定着している。</p> <p>「品質保持期限」と「賞味期限」を言葉にした場合、「品質保持期限」は役所的、消費者団体代表者の文言で、「賞味期限」は一般消費者に食品としての美味しさを訴えつつ、安心、安全が訴えられる。</p> <p>なぜなら、古来から食品を差し上げたりするとき、また、小売店の買って頂くすすめ言葉として「ご賞味下さい」という言葉を多く耳にする。品質保持に因んだような文言は「腐っていない。」といは言わない。このことから一般消費者に抵抗なく受け入れられる文言「ご賞味下さい」からも日付表示は、「賞味期限」に統一して頂きたい。</p>	賞味期限
193	日清オイリオ株式会社食品開発センター	<p>「賞味期限」と「品質保持期限」は、消費者の受けるイメージが異なるとかんが得ます。「賞味期限」はいつまでおいしく食べられるか、「品質保持期限」はいつまでもつかの違いがあると考えます。</p> <p>保存できる期間が1年とか2年といった長期にわたり品質変化があまりない食品(油等)もあれば、短期間に大きな品質変化が起こる食品とでは、大きな差があります。それぞれの特徴に応じた表示とした方が、消費者にとっても、より適切な判断ができると考えます。「賞味期限」と「品質保持期限」も既に消費者になじんだ言葉ですので現状通りが良いと考えます。</p>	統一不要
194	鎌倉市 男 44 会社員	<p>消費者の立場から見ると、「品質保持期限」とはこの日を持って一切の使用が出来なくなるといった印象を受けます。</p> <p>> 従って、「品質保持期限」が近づいたものはできれば口にしないほうがいいと受け取りかねません。</p> <p>> 一方、「賞味期限」については、おいしく食べられる期間を目安として表示していると感じており、「賞味期限」が近づいたものは早めに使おうと受け取っています。</p> <p>> 常々食用油については、成分の変化しにくい性質と理解していますので、「品質保持期限」は適当ではないと思います。</p>	賞味期限

195	横浜市神奈川区 男 36 会社員	<p>植物油には「賞味期限」を使用すべきです。</p> <p>「品質保持期限」と「消費期限」が同義である、ととらえている人は多いと思います。</p> <p>「消費期限」は、「いたみやすい食品で短期間で腐敗などによる衛生上の危害が発生するもの」につけられていますので、植物油に「品質保持期限」を適用してしまうと、期限を過ぎたら使えない・・・という誤解をまねく可能性があります。</p> <p>言葉のもつ印象により、使用可能なものがむやみに廃棄されてしまうことも有り得ますので、品質劣化がゆるやかな植物油については、引き続き「賞味期限」を使用していくことが望ましいと考えます。</p>	賞味期限
196	味の素株式会社 東京都中央区	<p>平成14年9月4日付「品質保持期限及び賞味期限の用語の統一についての意見募集について」(厚生労働省、農林水産省)に対し、味の素株式会社として以下のように考えます。ご配慮いただければ幸いに存じます。</p> <p>1. 品質保持期限及び賞味期限の用語を統一するべきか 〔意見〕 用語は統一すべきであると考えます。 〔理由〕 全く同じ期限表示の考え方であるのに拘らず、品質保持期限及び賞味期限という2つの用語が存在しており、製品を選択する消費者にとって、非常に紛らわしい状況となっております。(消費者から見ると、用語が違うので、違う意味があると見えてしまう。)用語を統一し、このような不都合は、速やかに解消することが必要であると考えます。</p> <p>2. 統一するとしたらいずれの用語を用いることが適切か 〔意見〕 賞味期限に統一することが適切であると考えます。 〔理由〕 現在、食品業界の多くは用語として賞味期限を使用しております。統一した場合、これまで目に触れる機会が多い賞味期限の方が違和感が少なく、消費者にとって受け入れやすいと考えます。</p>	賞味期限
197	佐倉市 男 会社員 38	<p>本来の意味を示す新しい名称にすることが消費者に正しい意味を伝えることにつながると考えます。</p> <p>Date of minimum durability"という意味で、米国では"best before"という表記が一般的に使われていますがこのニュアンス(最も良い状態まで)をもった日本語が良いと考えます。</p> <p>品質保持期限及び賞味期限も名が体を現していないので一般的な人は理解しづらいのだと感じます。</p>	その他
198	神奈川県横須賀市 男 52歳 会社員	<p>表示に関しては、食品それぞれの実態にあった表示が、2種類あっても差し支えない。</p> <p>缶詰め、レトルト等 は 期限がきれても 腐るわけでは無く、賞味期限がふさわしく、さしみ 等 生もの は期限きれにより 中毒などの心配があることから 品質保持期限が 適切である。</p> <p>これらを 同一の表示にすれば、食品表示として誤解の元で、食品衛生への危害となりかねない。</p>	統一不要

199	愛媛県松山市 男 64 無職	<p>1. 統一するべきか 統一するべきです。 (理由) わが国の平均的消費者が、賞味期限(品質保持期限)又は品質保持期限(賞味期限)という表示を見た場合、用語の法律上の定義を正しく理解している人は少ないので、分かりにくいという感じを持つ者が多いはず。用語を統一し、その周知徹底をはかるべきは自明だと思います。</p> <p>2. いずれの用語を用いることが適切か 品質保持期限です。 (理由) 法律用語としての「賞味期限」でなく国語としての「賞味期限」はおいしく食べ得る期限と受け止める消費者が多いと思います。消費者が表示に求めるべきは、「おいしく食べ得る期限」よりも法律用語の定義により近い「食品の安全期限」だと考えています。品質保持期限の方が、国語的には安心して安全に食べ得る期限と直ちに理解され、平均的消費者に発信するに適した用語だと考えます。</p>	品質保持期限
200	西宮市 男 23 食品流通	<p>賞味期限の表示が妥当である。</p> <p>・理由 品質保持期限とは、飲食に耐えられる年月日と認識されており、賞味期限より甘いものである。 昨今、食品メーカーには厳しい品質管理が求められており、賞味期限のほうが消費者も安心して買っていただけるのではないかと思います。 品質保持期限とは、惣菜など食べられる期間が短い食品に多く使われ、粉、油等の長期にわたって保存できる商品には適さないと考えられるから。</p>	賞味期限
201	社団法人日本茶 業中央会	別紙29	賞味期限
202	神戸市東灘区 男 31 会社員	<p>1. 期限表示に付いて 期限表示は下記理由により「賞味期限」表示が妥当と考えます。</p> <p>2. 理由 品質保持期限は食品等の劣化に伴う衛生上の危害の発生を防止する観点から、食品の製造後において、飲食に供することが適当である期間の終期を示すと考えられます。 一方、賞味期限は製品として期待される品質特性を十分保持しうると認められる期限、すなわち、おいしくいただける期限で、品質保持期限より厳しい期限と考えられます。 食品を考えると、「おいしくいただける期限」の賞味期限の方が消費者にとって理解されやすいと考えます。 一般消費者はいつまで持つかより、いつまでおいしく食べられるかの期限を知りたいと考えています。 (当業界の製品については) 食用植物油の場合には、品質が保持される期間が化学的特数値ではほとんど変化が現れず、風味の低下が缶では2年、プラスチック容器入りでも1年と長期間であることから賞味期限の呼び方があっている。</p>	賞味期限
203	横浜市 男 36 会社員	<p>賞味期限表示と品質保持期限表示について私の意見を提出致します。 消費者の立場を考えると、品質保持期限とはこの日を超えると食品としておいしく食べられるかどうかといった判断基準ではなく、有害か無害かを判断するための日付と捕らえかねない印象があります。もちろん実態としては、その日付までに利用することで本来期待されるおいしさが維持されるものから、表示方法としては、賞味期限が相応しいものと思います。特に、安定性の高い食用油脂等には品質保持期限は馴染まないものではないでしょうか。</p>	賞味期限

204	横浜市港南区 女 31 食品関 係会社員	期限表示についての意見を提出いたします。 品質保持期限・賞味期限の用語は統一すべきだと思います。私は賞味期限にしたほうがよいと思います。品質保持期限では食品の美味しさに関係なく期限を定めたようなイメージがあり、その日を一日でも過ぎたら食品に適さないような気がします。もしかしたらまだまだ食べられるような食品でも処分してしまうでしょう。賞味期限はこれまでのイメージから、十二分においしく食べられる期間が決められているだけで、賞味期限が過ぎたからといってすぐに食品を処分してしまうようなことはないと思います。消費者にとって大事な美味しさが保障できるので、私は賞味期限に統一したほうがよいと思います。	賞味期限
205	日清シスコ株式 会社 大阪府堺 市	別紙 3 0	賞味期限
206	(会社)	別紙 3 1	賞味期限
207	(会社)	別紙 3 2	賞味期限
208	(会社)	別紙 3 3	賞味期限
209	(会社)	別紙 3 4	賞味期限
210	(会社)	別紙 3 5	品質保持期限
211	(会社)	別紙 3 6	品質保持期限
212	(会社)	別紙 3 7	賞味期限